balzamin / 凤仙花 / ホウセンカに相当する標準的呼称が「凤仙花」 / 「花」は他の植物系語根でも再利用できるため学習コスト削減に寄与

* genist / 金雀花 / 英名 “broom” に対応する代表名は「金雀花」 / 「花」 は既出、「金」「雀」も比較的画数が少なく認知度も高い
* pistil / 雌蕊 / 「めしべ」の標準的漢字表現が「雌蕊」 / 単字化が困難なためやむなく2文字。「蕊」はやや画数多めだが花の構造語としては標準
* bast / 韧皮 / 「じん皮」に近い表現で「韧皮」が該当 / 画数はそこそこだが他に適切な一字がないため。再利用可能な「皮」を含む
* fuk / 海藻 / ヒバマタ(ホンダワラ類)など海藻全般を指すのに「海藻」が簡明かつ汎用的 / 「海」「藻」は他の水生植物にも使い回し可能
* ricin / 蓖麻 / ヒマは漢語では「蓖麻」が標準的 / 「麻」は後述の“kanab”にも登場、重複で学習コストを下げられる
* lin / 亚麻 / 「亜麻」に対応する簡体字が「亚麻」 / 「麻」は既出
* kanab / 麻 / 「麻(大麻・麻の総称)」をそのまま割り当て / 既出の「麻」を再利用し学習コストを低減
* sorg / 高粱 / モロコシ(ソルガム)は中国語で「高粱」が標準 / 2文字だが比較的よく知られ、画数も許容範囲
* maiz / 玉米 / トウモロコシの標準的呼称が「玉米」 / 2文字でシンプルかつ汎用的
* aven / 燕麦 / カラスムギ＝オート麦に対応する標準形が「燕麦」 / 「麦」は再利用可能だが「燕」はやや画数多め
* horde / 大麦 / オオムギは「大麦」が一般的 / 「麦」を再利用できるため学習コストを抑えられる
* piz / 豌豆 / エンドウ豆の標準形は「豌豆」 / 「豆」は他種の豆類にも再利用可能
* plantag / 车前 / オオバコは「车前草」が標準だが、短縮して「车前」でも通じる / 「车」「前」はいずれも画数が少なく使いやすい
* akvilegi / 耧斗菜 / オダマキ（Aquilegia）の中国名は「耧斗菜」 / 「耧」は馴染みが薄く画数多めなので難易度は高め
* kamomil / 洋甘菊 / カミツレ(カモミール)の中国名は「洋甘菊」 / 「甘」「菊」は花関連での再利用が期待できる
* kameli / 山茶 / ツバキ属＝Camellia は「山茶」または「山茶花」が一般的 / 「茶」は画数少なめかつ日本人にもなじみがある
* lap / 牛蒡 / ゴボウは中国語で「牛蒡」 / 「牛」は画数が少なく、他語根にも応用しやすい
* kapor / 刺山柑 / フウチョウボク(ケーパー)の標準は「刺山柑」 / 画数はそこそこあるが、他に適切で簡単な一字表記がない
* nap / 芜菁 / カブラはturnipに相当、標準的表記は「芜菁」 / 同じく #21 でも用いることで再利用可
* rap / 芜菁 / カブラ(同上) / #20 との重複により学習コスト削減
* bulb / 洋葱 / 玉ねぎに相当 / 中国語で最も一般的な「洋葱」を使用(「球茎」だと一般名ではなく学術寄り)

ranunkol / 毛茛 / 中国語におけるキンポウゲ属の標準的表記 / 「毛(4画)」は頻出字、「茛(9画)」はやや珍しいが他案より標準的

1. absint / 苦艾 / ニガヨモギ(absinthe)を示す際によく用いられる名称 / 「苦(8画)」「艾(5画)」はいずれも比較的頻出字で覚えやすい
2. vink / 长春花 / ニチニチソウの中国名で最も一般的な呼称 / 「长(4画)」「春(9画)」「花(7画)」はいずれも頻出字で、他語根でも「花」を転用可能
3. levkoj / 紫罗兰 / アラセイトウ(ストック)を含む“紫羅蘭系”の呼称として広く知られる / 「紫(11画)」「罗(8画)」「兰(5画)」はいずれも中国語で頻出し、今後も再利用可能
4. viburn / 荚蒾 / ガマズミ属の中国名で標準的な表記 / 「荚(7画)」「蒾(12画)」はやや珍しいが、中国語で正式名称として認知度が高い
5. konvolvul / 旋花 / ヒルガオ属(Convolvulus)の一部を示す名称として用いられる / 「旋(9画)」「花(7画)」。既出の「花」と組み合わせ、学習コストは増えにくい
6. siring / 丁香 / ライラックを「丁香(あるいは紫丁香)」と呼ぶ用法が中国語で広く定着 / 「丁(2画+捺点で合計4画とも数える流儀あり)」「香(9画)」はいずれも頻出字
7. nimfe / 睡莲 / スイレンの中国語名として標準的 / 「睡(13画)」「莲(10画)」はいずれも比較的よく使われる字（例：莲は「蓮」と同源）
8. lili / 百合 / ユリ全般を指す中国語表記として極めて一般的 / 「百(6画)」「合(7画)」ともに使用頻度が高く、学習もしやすい
9. konval / 铃兰 / スズランの正式な中国語名 / 「铃(8画)」「兰(5画)」。すでに(4)で「兰」を使用済み
10. taksus / 紫杉 / イチイ属(泰山紫杉など)を指す際によく使われる呼称 / 「紫(11画)」は(4)と重複、「杉(7画)」は頻出の木偏の字
11. sambuk / 接骨木 / ニワトコの中国語での標準名 / 「接(11画)」「骨(10画)」「木(4画)」。うち「木」は再利用頻度が高い
12. fraksen / 梣 / トネリコ属を指す際の簡体字(やや専門的だが正式) / 「梣(11画)」単字で済むため文字数は抑えられる
13. ment / 薄荷 / ハッカ・ミント類を示す中国語名として最も広く通用 / 「薄(16画)」「荷(10画)」はいずれもやや画数多めだが一般的
14. erik / 石南 / ヒース(エリカ属)の中国語名 / 「石(5画)」「南(9画)」はいずれも頻出字で、ほかとも組み合わせやすい
15. galant / 雪花莲 / スノードロップの中国語標準名 / 「雪(11画)」「花(7画)」「莲(10画)」。既出の「花」「莲」が再利用できる
16. junk / 灯心草 / イグサ属の中国語名 / 「灯(6画)」「心(4画)」「草(9画)」。いずれも頻出字で重複利用しやすい
17. kan / 芦苇 / アシ・ヨシなど「reed」と呼ばれる植物の中国語で一般的な呼称 / 「芦(7画)」「苇(7画)」どちらも比較的シンプル
18. kverk / 栎 / カシ属(コナラ・樫など)を指すときの中国語簡体字 / 「栎(9画)」単字で正式に対応可能
19. aln / 桤木 / ハンノキ属の中国語表記(赤杨とも) / 「桤(10画)」「木(4画)」。木は既出で再利用しやすい
20. musk / 苔 / コケのうち、とくに“苔(こけ)”として通用度が高い単字を優先 / 「苔(8画)」は「苔藓」の略表記としてよく見かける
21. pedik / 虱 / シラミを示す中国語の単字 / 「虱(8画)」はやや馴染み薄いが、虫部首の代表的単字

larik / 落叶松 /  
「落叶松」は中国語で「カラマツ」を示す標準的名称。単一漢字での適切な表現がなく、誤解を避けるためにも通用度の高い名称を採用。  
/ 「落」「叶」「松」は比較的よく使われる漢字であり、他の植物名でも「松」は汎用的に使える可能性がある。ただし3文字になる点は留意。

1. kard / 蓟 /  
   中国語で「薊(蓟)」は「アザミ」の意。ヒレアザミに限らず、一般的にアザミ類を指しうる単字として有力。  
   / 画数はやや多い(蓟=13画)が、単一漢字で明確に「thistle」を表すため学習効率はむしろ高い面もある。
2. malv / 葵 /  
   「葵」はアオイ科の植物を総称し、日本語圏でも「葵(あおい)」として認知度が高い。ゼニアオイを含むマルヴァ属(錦葵属)を象徴する漢字として妥当。  
   / 「葵」は「向日葵(ひまわり)」など他の植物名にも登場し、汎用性がある。
3. cejan / 矢车菊 /  
   「矢车菊」はヤグルマギクの中国語名として標準的。単一漢字が無いため、通用度の高い正式名称を優先。  
   / 3文字だが、「车」「菊」は日中でなじみのある漢字。「矢」はやや画数が少なく、今後再利用される可能性もある。
4. miozot / 勿忘草 /  
   ワスレナグサの呼称としては「勿忘草」「勿忘我」などあるが、日本語「勿忘草」との対応が分かりやすい。  
   / 4文字になるものの、「勿」「忘」「草」は比較的よく用いられ、それぞれ他語への転用の余地あり。
5. melis / 香蜂草 /  
   レモンバーム(メリッサ草)の一般的な中国名。「柠檬香蜂草」ともいうが文字数削減のため「香蜂草」を選択。  
   / 「香」「蜂」「草」は頻度も比較的高めで、他の草本類語根にも応用しやすい。
6. mimoz / 含羞草 /  
   ミモザ(感触で葉が閉じるタイプ)としては中国語で「含羞草」が広く通用。  
   / 「含」「羞」「草」は常用頻度の比較的高い部類。画数はやや多いが、固有植物名としては受容度が高い。
7. rezed / 木犀草 /  
   モクセイソウ(ミニョネット)の厳密な中国名はあまり流通していないが、日本語「木犀草」を直訳気味に当てる。  
   / 「木」「犀」「草」は既出や他植物名にも使える可能性があるが、「犀」はやや画数が多いため注意。どうしても負担が大きければ「未対応」も検討余地あり。
8. lent / 小扁豆 /  
   レンズマメに対応する中国語は「小扁豆」が一般的(「扁豆」は別種を指すことが多く誤解を招く)。  
   / 「小」「扁」「豆」は他の豆類語根にも転用可能で、学習効率も悪くない。
9. laktuk / 生菜 /  
   レタス全般を指す簡体字の一般的名称として「生菜」を採用(「莴苣」は品種による混同もあり)。  
   / 「生」「菜」は非常に常用度が高く、飲食関連語にも転用がきくため学習コストを抑えやすい。
10. vinjet / 花饰 /  
    装飾カット・ヴィネットをイメージする装飾的要素として「花饰」(「花」＋「饰」)を提案。  
    / 「花」は植物関係ですでに複数回使用が見込め、「饰」も装飾関連で今後の転用可能性が高い。
11. garnitur / 饰品 /  
    装身具一式(アクセサリー類)を中国語では「饰品」がわかりやすい。  
    / 「饰」は既出(上記vinjetなど)、「品」は日中英共通で「品物」や「製品」の意味を持ち汎用性高し。
12. garn / 加固 /  
    「補強する」「(さらに)強化する」の意に対応する中国語として「加固」が標準的。  
    / 「加」は頻出漢字で、動詞・接頭的用法でも汎用性が高い。「固」も基本語彙であり使い回しやすい。
13. ornam / 装饰 /  
    (を)装飾する→「装饰」。中国語で最も一般的な「装飾」表現の1つ。  
    / 「装」は既出可能性が高く、「饰」も繰り返し登場しており学習負担は相対的に低め。
14. dekoraci / 装饰 /  
    「dekoraci」も装飾を意味するため、同じ「装饰」で統一。後で上付き文字などで区別見込み。  
    / 既に採用済みの「装」「饰」の再利用により、漢字種類を増やさないメリットがある。
15. diskont / 贴现 /  
    (商)手形割引など金融用語としては「贴现」が定訳。日常の「割引(打折)」とは別の専門用語。  
    / 2文字構成で意味が明確。「贴」「现」は他の金融・経済用語での再利用も想定。
16. rabat / 折扣 /  
    一般的な商業割引(リベート・値引き含む)としては「折扣」を最もよく用いる。  
    / 「折」「扣」は日常で頻用されるため、学習コストも比較的低い。
17. likvid / 清算 /  
    (商)(を)清算する→「清算」。会社の解散・資産精算などを表す金融用語。  
    / 「清」「算」はいずれも常用かつ他の経済用語にも登場しやすい。
18. amortiz / 摊销 /  
    (を)原価消却する→会計用語で「摊销(たんしょう)」が標準的。  
    / 「摊」「销」はやや画数が多いが、会計・商取引系で広範に使われる。
19. evit / 避免 /  
    (を)避ける・回避するの意→「避免」(避+免)が日常でも専門でも通用度高い。  
    / 「避」は単独でも「避ける」だが、「避免」の方が「回避する」行為として定着しており、誤用が少ない。
20. de/ten## / 挽留 /  
    (を)引きとめる・離さないでおく→「挽留」。相手が立ち去るのを留める場合に広く使われる。  
    / 「挽」「留」いずれも常用レベルで、他の「留(残す/留める)」関連語と一貫性がある。
21. border / 包边 /  
    (を)縁取る・へりを付ける→「包边」(縫製などで生地の縁をくるむ)が比較的簡易かつ分かりやすい。  
    / 「包」は画数が少なく、他動詞的な意味(包む)で汎用度が高い。「边」も既出(矢车菊など)で再利用性がある。

### **1) ekskomunik**

swift

Copy

ekskomunik/逐/「教会から追い出す」=「逐出教会」のイメージ/「逐」は放逐や驱逐などでも用いられるため使い回し可能

* 提案する簡体字: 「逐」
  + 中国語で“追い払う・追放する”を意味する字。「驱逐(駆逐)」「放逐」などの単語に含まれる。
  + 漢字圏の日本語でも「逐電」「逐次」などで見られ、一応意味はつかみやすい範囲。
  + 学習コスト: 1文字。今後「exile(ekzil)」などでも「逐」を使い回せる可能性がある。

### 2) ced

swift

Copy

ced/让/「譲る・譲歩する」を表しやすい/画数が少なく汎用度が高い

* 提案する簡体字: 「让」
  + 中国語で“譲る、譲歩する、～させる”などの意味。
  + 繁体字は「讓」で、日本語の「譲」に近い。
  + 学習コスト: 1文字(4画)で比較的シンプル。

### 3) las

swift

Copy

las/放/「放す・手放す・許す」に近い意味/「放」は他でも再利用しやすい

* 提案する簡体字: 「放」
  + “放す・解き放つ・許す”などの感覚があり、「allow, leave」のニュアンスに合う。
  + 学習コスト: 1文字(8画)。後述の「放弃」「放逐」「解放」などでも再利用可能。

### 4) rezign

swift

Copy

rezign/放弃/「あきらめる・放棄する」の決まり文句/「放」は既出、「弃」は新出だが比較的認知度高い

* 提案する簡体字(熟語): 「放弃」
  + 中国語で“諦める、放棄する”の常用表現。
  + 「放」は既出( las )、「弃」(繁体字:「棄」)は「捨てる・棄てる」の意味。
  + 学習コスト: 既に「放」を使っているため、新出は「弃」のみ。

### 5) abdik

swift

Copy

abdik/退/「退く、退位する」の意味をシンプルに表現/画数少なく理解しやすい

* 提案する簡体字: 「退」
  + “退く、後ろへ下がる”という意味。日本語の「退位」「引退」に通じる感覚。
  + 厳密には「退位」と2文字にしたほうがより正確だが、単独の「退」でも「身を引く」ニュアンスは伝わりやすい。
  + 学習コスト: 1文字。

### 6) ekzil

swift

Copy

ekzil/放逐/「放逐＝国外追放・追放する」の定番表現/「放」は既出、「逐」も既出(ekskomunik)の使い回し

* 提案する簡体字(熟語): 「放逐」
  + 中国語で“追放する、流刑にする、国外追放する”に近い表現。
  + 「放」はlas(③)で既出、「逐」はekskomunik(①)で既出。
  + 学習コスト: 追加の新出文字なし。

### 7) emancip

swift

Copy

emancip/解放/「解放する」の常用表現/「解」は後述のsolve(解)とも関連

* 提案する簡体字(熟語): 「解放」
  + 中国語・日本語ともに“解放する”の意味。非常に馴染みがある語。
  + 「放」は既出( las )。ここで「解」が初登場。
  + 学習コスト: 新出は「解」のみ。後の「solve(解)」にも流用可能。

### 8) dis

swift

Copy

dis/分/「分散・離れる」のニュアンス/単純で汎用性が高い

* 提案する簡体字: 「分」
  + 中国語の“分(わける)・分かれる”という基本的な意味を持つ字。
  + Esperantoの接頭辞「dis-」が示す「離散・分離」に近い。
  + 学習コスト: 1文字(4画)で非常に簡単。今後「divide(分)」でも継続利用可。

### 9) divid

swift

Copy

divid/分/「分割する」の最も直接的な1字/前項disと同字・使い回し

* 提案する簡体字: 「分」
  + “割る、分配する”など。前項( dis )と同じ字を再利用。
  + 学習コスト: 既出。

### 10) distribu

swift

Copy

distribu/分配/「分配・割り振る」の代表的表現/「分」は既出、「配」新出だが基幹語彙

* 提案する簡体字(熟語): 「分配」
  + 中国語で「分配」は“配分・割り当て”の標準的な言い方。
  + 「分」は(8)(9)で既出、「配」は新出。
  + 学習コスト: 新たに「配」が増えるが、今後「配合」「配料」などにも使える汎用性あり。

### 11) ekstrakt

swift

Copy

ekstrakt/取/「抽出する」=「取る」のイメージで1文字化/画数少なく汎用度が高い

* 提案する簡体字: 「取」
  + 中国語の“取(とる)”は「手に取る」「引き出す」の基本的意味を持ち、“extract”に近い用法もあり。
  + 学習コスト: 1文字(8画)。比較的覚えやすい。

### 12) deriv

swift

Copy

deriv/导/「導く」=「导出」「引き出す」の感覚/簡体字6画でシンプル

* 提案する簡体字: 「导」
  + 中国語で「导出(ダオチュー)」＝「導き出す」「(ファイルを)エクスポートする」などの表現がある。
  + 繁体字は「導」(日本語の「導く」と同形)。
  + 学習コスト: 1文字。

### 13) dedukt

swift

Copy

dedukt/推/「推理・推断」の推/「推論する・推定する」ニュアンス

* 提案する簡体字: 「推」
  + 中国語で“推理、推断”＝deduce, inferの意味合い。
  + 学習コスト: 1文字(11画)。比較的わかりやすい。

### 14) esting

swift

Copy

esting/灭/「消す・滅する」に直結する字/画数5画で簡潔

* 提案する簡体字: 「灭」
  + 中国語で“熄灭(火を消す)”“消灭(消し去る・撲滅)”などに用いられ、「消す・滅する」イメージに近い。
  + 学習コスト: 1文字(5画)。

### 15) solv

swift

Copy

solv/解/「解く・解決する」の感覚/既出の「解放」の「解」を流用

* 提案する簡体字: 「解」
  + 中国語の“解(ほどく・解釈する・解決する)”に相当し、solve(解決)の意味に合致。
  + (7) emancip「解放」で既に登場。
  + 学習コスト: 既出なので増えない。

### 16) kresk

swift

Copy

kresk/长/「成長する」の動詞用法(zhǎng)/画数も少なく日本語「長」に対応

* 提案する簡体字: 「长」
  + 発音(zhǎng)で“成長する”を意味する。日本語の「長(ながい)」とは字形が共通だが、中国語では「成長・伸びる」も示す。
  + 学習コスト: 1文字(4画)と簡単。

### 17) veget

swift

Copy

veget/生/「生(いきる・植物が生える)」の感覚/植物的な生育を連想しやすい

* 提案する簡体字: 「生」
  + “生きる、発生する、(植物が)生える”など広くカバー。
  + 学習コスト: 1文字(5画)。基本的かつ汎用性が非常に高い。

### 18) ekspluat

swift

Copy

ekspluat/开发/「開発・開拓・(資源を)利用する」などの意味/常用2文字熟語

* 提案する簡体字(熟語): 「开发」
  + 中国語で“開発する、開拓する、資源を利用する”など。「剥削(搾取)」とはやや異なる意味合いもあるため、より広義の「开发」を採用。
  + 学習コスト: 「开」(4画)と「发」(5画)が新規だが、どちらも頻度高め。

### 19) progres

swift

Copy

progres/进/「進む・前進する」の基本字/「进步(進歩)」にも派生可能

* 提案する簡体字: 「进」
  + “進む、前へ行く”の意味。日本語の「進」(しんにょう)に相当。
  + 学習コスト: 1文字(7画)。以後「进化」などでも再利用予定。

### 20) evolu

swift

Copy

evolu/进化/「進化・発展する」の最も直接的な表現/「进」は既出、「化」は新出

* 提案する簡体字(熟語): 「进化」
  + 中国語で“進化する”を表す定番表現。
  + 「进」は(19) progresで既出、新たに「化」(4画)が増える。
  + 学習コスト: 「化」はよく使われる偏旁(例: 文化, 化学)で汎用性高め。

### 21) evoluci

swift

Copy

evoluci/进化/「進化」の名詞用法だが、動詞と同形でOK/学習コスト0

* 提案する簡体字(熟語): 「进化」
  + (20) evoluと同じ「进化」を流用し、動名詞を区別しない形。
  + 学習コスト: 既出のため追加負担なし。

### 22) fal

swift

Copy

fal/落/「落ちる、落下する」の標準字/画数12画だが比較的知名度高い

* 提案する簡体字: 「落」
  + 中国語・日本語ともに“落ちる”や“落下”のイメージが強い字。
  + 学習コスト: 1文字(12画)。

redukt

* + 提案: 减
  + 理由: 「減(减)」は「減少する」「小さくする」を表す常用字であり、エスペラントの “reduce” に対応しやすい。
  + 学習コスト: 「冫(氷)＋咸」という偏旁構造で画数はやや多めだが、中国語でも日本語でも「減」をイメージしやすい文字なので妥当。

1. degrad
   * 提案: 贬
   * 理由: 「贬(貶)」は「(身分・地位を)下げる」「降格する」を意味する常用字。日本語だと「貶める(おとしめる)」の字で把握可能。
   * 学習コスト: 画数は比較的少なく、見慣れないかもしれないが「贝(貝)」の偏旁は貨幣や価値に関係するため覚えやすい可能性あり。
2. kaduk
   * 提案: 朽
   * 理由: 「朽」は「朽ちる」「老朽」「腐朽」といった意味を持ち、エスペラントの「老朽の, decrepit」のニュアンスに近い。
   * 学習コスト: 日本語圏でも「老朽」「不朽」「朽ち果てる」などで馴染みがある。画数も6画と少なめ。
3. degener
   * 提案: 退化
   * 理由: 中国語で「退化」は「degenerate, 退化する」の意味として広く使われる標準的な表現。
   * 学習コスト: 二文字だが「退」も「化」も頻度が高い常用字。ほかの語(衰退など)でも「退」を再利用できるので学習コストは抑えられる。
4. velk
   * 提案: 枯
   * 理由: 「枯」は「枯れる」「枯渇」のように“水分や活力を失ってしおれる”ことを指し、wither のニュアンスに合致。
   * 学習コスト: 画数は9画(日本の部首数えなど諸説あり)だが、「木＋古」の組合せで比較的わかりやすい。
5. dekadenc
   * 提案: 衰退
   * 理由: 「衰退」は “decadence, decline” を表す一般的な熟語。特に中国語では「走向衰退」などの形で「衰退＝衰落・没落」も含意する。
   * 学習コスト: 「衰」は画数10、「退」は画数9で少なくはないが、すでに退は「退化」で使用。「衰」自体も「衣＋垂」の形で覚えやすい部類。
6. putr
   * 提案: 腐
   * 理由: 「腐」は「腐る」「腐敗」「豆腐」など、食べ物や物質の“腐る”状態を示す常用字。
   * 学習コスト: 部首「⺼(肉)」を含むため初学者にはやや画数が多く見えるが、「腐敗」「防腐」などで頻出し、意味は覚えやすい。
7. pere
   * 提案: 亡
   * 理由: 「亡」は「死ぬ」「失う」「滅びる」など「存在の終わり」を示すシンプルな字。perish のイメージに近い。
   * 学習コスト: 画数は3と非常に少ない。文字の形も単純で習得しやすい。
8. bankrot
   * 提案: 破产
   * 理由: 中国語で「破产」は「破産」「倒産」を意味する標準的表現。
   * 学習コスト: 二文字熟語だが、中国語圏では極めて一般的。「破」(やぶれる)と「产」(生産/財産など)の組み合わせ。
9. akcel

* 提案: 加速
* 理由: 中国語で「加速」は「スピードを上げる、促進する」に対応する最も基本的な表現。
* 学習コスト: 「加」「速」はいずれも初級レベルで出会う常用字。二文字ながら使い回ししやすい。

1. impet

* 提案: 冲
* 理由: 「冲」は中国語で「突進する」「衝撃」など“突き進む”意味があり、rush, dash に相当。
* 学習コスト: 画数は6(「冫＋中」)とややシンプル。後述の「冲动」と組み合わせて再利用。

1. impuls

* 提案: 冲动
* 理由: 「冲动」は中国語で「衝動」「勢いで動く(Impulse)」を表す非常にポピュラーな熟語。
* 学習コスト: 「冲」は上記で既出。「动」は「動」の簡体字で、やや画数はあるが初歩レベルの常用字。

1. puŝ

* 提案: 推
* 理由: 中国語で「推」は「押す」「推進する」「推測する」など、押し出す動作の最も代表的な字。
* 学習コスト: 11画だが非常に頻度が高く、日本人にも「推薦」「推定」などで馴染みがある。

1. ŝov

* 提案: 推
* 理由: 「押しやる」「ずらす」の意味も広義では “push / shove” に含まれるため、同じ「推」を流用。
* 学習コスト: 重複利用により新規学習負担はゼロ。

1. prem

* 提案: 压
* 理由: 中国語の「压(壓)」は「押す」「圧力をかける」「圧迫する」を指す基本字で、press, pressure の意味に合致。
* 学習コスト: 6画と比較的少ない。日本語の旧字体「壓」と比べ簡略化されているので視覚的にも覚えやすい。

1. trud

* 提案: 迫
* 理由: 「迫」には「迫る・強いる・圧力をかける」の意味があり、to force, impose に比較的近い。
* 学習コスト: すでに「迫害」(後述)でも使われる文字を先行採用しておくことで重複利用可。

1. streĉ

* 提案: 紧
* 理由: 「紧(緊)」は「ぴんと張る」「引き締まる」「緊張」のニュアンスを広くカバー。stretch, tension に相応しい。
* 学習コスト: 画数は10だが「糸(纟)＋金」の形で比較的覚えやすい。意味面では「緊張」の“緊”に通じ、日本人にも理解しやすい。

1. urĝ

* 提案: 急
* 理由: 「急」は「さし迫った」「急ぎの」「緊急」を示す基本字。urgent の意味に直結。
* 学習コスト: 9画。日本語でも「急ぐ」「急用」など日常的に見かけるため直観的に理解できる。

1. insist

* 提案: 坚持
* 理由: 中国語で「坚持」は「意見・主張を貫く」「粘り強く続ける」など “to insist, to persist” の代表的な表現。
* 学習コスト: 二文字熟語だが、どちらも初級レベル。単独字で「坚」は“堅固”、「持」は“持つ”のイメージで関連づけやすい。

1. persekut

* 提案: 迫害
* 理由: 中国語で「迫害」は「迫る＋害する」という形で“迫害、痛めつける”の定番表現。
* 学習コスト: 「迫」は既出。「害」は画数10だが「危害」「利害」でよく使われるため、比較的認知されやすい。

1. impon

* 提案: 威
* 理由: 「威」は「威圧」「威力」「威勢」のように“力で圧倒する・恐れさせる”ニュアンスに合致し、imposing, impress forcibly に近い。
* 学習コスト: 9画だが「女＋戈(ほこ/武器)」で構成されているため、ある程度構造は理解しやすい。

1. ribel

* 提案: 叛
* 理由: 「叛」は「反叛」「背叛」などで「裏切る・反逆する」意味を持ち、“rebel, revolt” に対応。
* 学習コスト: 5〜7画（数え方で異なる場合あり）。日本語ではやや馴染みが薄いが、意味自体は「反」の強化版で覚えやすい。

revoluci / 革命 /  
選定理由: 「革命」は日中双方で最も代表的かつ直感的に“revolution”を表す熟語。  
学習コスト: 2文字だが、いずれも非常に高頻度で広く知られる漢字(「革」「命」)。意味連想もしやすい。

1. parad / 游行 /  
   選定理由: 「游行」は「パレード」「行進」の意で、日中両言語で概ね伝わりやすい。  
   学習コスト: 2文字熟語だが、どちらの字も比較的よく使われる。「行」はさらに多義かつ頻出字。
2. kapitulac / 投降 /  
   選定理由: 「投降」は「降伏」を意味する標準的な熟語。1文字「降」だけではやや曖昧なため2文字にした。  
   学習コスト: 「投」「降」ともに比較的使用頻度が高い。学習コストはやや増すが意味は明確。
3. pendol / 摆 /  
   選定理由: 「摆」は「振り子が揺れる」「位置を変える」「並べる」など「左右に揺れる」ニュアンスを含む。中国語で「摆锤」は振り子を指す。  
   学習コスト: 扌偏旁(「手」)＋「罷」の組み合わせ。やや画数は多いが、「振子」のイメージには比較的近い。
4. oscil / 振 /  
   選定理由: 「振」は「振動」「振るう」など、「振動・揺れ」に関わる意味が強い。中国語で「振动」は“oscillate/vibrate”。  
   学習コスト: 10画程度でそこそこ頻度も高い。後述のvibrとも重複利用できる。
5. flirt / 飘 /  
   選定理由: 「飘」は「飄(ひょう)」「風になびく・漂う」のニュアンス。旗が翻るイメージに近い。  
   学習コスト: 「风」偏を含む派生形で、比較的よく目にする。日常語でも「飘扬」などで使われる。
6. flagr / 闪 /  
   選定理由: 「闪」は「閃光・きらめき・ちらつく」の意味(“flash/flicker”)。炎が揺らめく様子(“flare, flicker”)をシンプルに表現しやすい。  
   学習コスト: 5画と少なく、非常に高頻度(「闪电=稲妻」など)。短いが応用範囲が広い。
7. vibr / 振 /  
   選定理由: 上記(oscil)と同じく「振」を採用。振動・バイブレーションを直接連想できる。  
   学習コスト: 既出文字「振」なので追加コストなし。意味は「振動」と一致。
8. trem / 抖 /  
   選定理由: 「抖」は「震え(抖动)」「抖落」など“細かく震える”動きを連想させる。  
   学習コスト: 6画と少なく、“震える”ニュアンスが強い。よく使われる動詞でもある。
9. sku / 摇 /  
   選定理由: 「摇」は「手で揺らす、振る、(上下左右に)動かす」など能動的な“振る・揺すぶる”イメージ。  
   学習コスト: 扌偏(手)＋「爻(コウ)」部で13画だが、中国語では「摇头(首を振る)」「摇晃」などで頻出。
10. balanc / 摇 /  
    選定理由: 上下に揺する動作も「摇」(左右を含む揺れ全般)でまとめ、学習コストを削減。  
    学習コスト: 既出の「摇」を再利用。多少意味範囲が広いが、区別は上付き文字等で対応予定。
11. lul / 摇 /  
    選定理由: 「(子を)揺すって寝かしつける」は中国語で「摇(晃)孩子」などと言うため、同じく「摇」に統一。  
    学習コスト: 既出文字で追加コストなし。「あやす」ニュアンスだが「摇」で概ね通じる。
12. pep / 鸣 /  
    選定理由: 「鸣」は「鳴く(鳥や虫など)」「音を発する」を表す字で、中国語でも「鸣叫」は小鳥のさえずりを表現。  
    学習コスト: 8画で比較的基本的な字。日本語でも「鳴く」で通じ、イメージしやすい。
13. tord / 扭 /  
    選定理由: 「扭」は「ねじる・ひねる」を意味し、「扭动」「扭曲」で“twist”の感覚を表す。  
    学習コスト: 扌偏＋「丑」の組み合わせ(7画)。動作系の漢字としても活用される。
14. kirl / 搅 /  
    選定理由: 「搅」は「かき回す」「攪拌する」意味。中国語で「搅拌=stir, mix」。  
    学習コスト: 扌偏＋「纠」のような構成(9画)。やや画数はあるが動詞として頻繁に用いられる。
15. sving / 挥 /  
    選定理由: 「挥」は「振る・振りかざす(brandish)」の意味で「挥手(手を振る)」などが代表例。  
    学習コスト: 6画で比較的簡潔。「揮(日本の旧字)」より画数が少ない簡体字なので負担も軽い。
16. ŝancel / 摇 /  
    選定理由: 「ぐらつかせる・よろめかせる」も広義の“揺らす”として「摇」に統一し、文字数を削減。  
    学習コスト: 既出の「摇」流用。微妙な意味差は上付き文字などで区別可能。
17. strab / 眯 /  
    選定理由: 「眯」は「目を細める・眯眼(目をすがめる)」を指し、“やぶにらみ・斜視・横目”に近いニュアンス。  
    学習コスト: 9画(目偏＋米)。日常的によく使われるとは言えないが、「 squint 」の意味が分かりやすい。
18. grinc / 吱 /  
    選定理由: 「吱」は「吱吱」など軋むような小さな音(きしみ・こすれる音)のイメージを表しやすい。  
    学習コスト: 7画で比較的簡単。オノマトペ的に「吱吱」などと重ねて用いることも多い。
19. knar / 吱 /  
    選定理由: 「grinc」と類似の「きしむ音」。まとめて「吱」に統一し学習コストを削減。  
    学習コスト: 既出文字再利用。同一漢字でも後日区別符で対応すればよい。
20. kaŭr / 蹲 /  
    選定理由: 「蹲」は「しゃがむ・うずくまる」を意味する最適字。中国語で「蹲下」など。  
    学習コスト: 19画とやや多いが、単体で“crouch”を表せる代表的な字として選択。
21. ŝim / 霉 /  
    選定理由: 「霉」は「かび・真菌による汚染」を直接表す簡体字(「发霉=カビる」)。  
    学習コスト: 12画程度だが、カビを意味する主要字なので分かりやすい。

ĉif / 皱 /  
選定理由: 「しわ」「しわくちゃになる」という意味で、中国語では「皱(zhòu)」が最も直接的。  
学習コスト: 9画とやや多めですが、しわに対応する簡潔な常用字として認識しやすい。

1. ŝrump / 缩 /  
   選定理由: 「縮む」「しなびる」などのニュアンスがあり、中国語で「收缩(shōusuō)」「萎缩(wěisuō)」などと使われる核心字。  
   学習コスト: やや画数は多い(「纟＋宿」の組合せ)が、頻出度が高く学習効果が高い。
2. kalfatr / 填缝 /  
   選定理由: コーキング(すき間に詰め物をする)は中国語で「填缝(tiánfèng)」が一般的。  
   学習コスト: 2文字熟語で画数は増えるが、「填」「缝」はともに日常語彙にも登場しやすい。
3. kluk / 咯 /  
   選定理由: ニワトリなどの「クックッ」という鳴き声を表す擬声語「咯咯(gēgē)」から1文字を抽出。  
   学習コスト: 9画でそこそこだが、中国語での擬声表現として比較的分かりやすい部類。
4. frot / 擦 /  
   選定理由: 「摩擦する」「こする」を表す最も一般的な簡体字の一つ。  
   学習コスト: 17画と多めだが、使用頻度が高く、日本語話者にも「擦る(こする)」のイメージで馴染みやすい。
5. kolizi / 撞 /  
   選定理由: 「衝突する」を表す代表的な単字。名詞「碰撞(pèngzhuàng)」にも含まれ、意味が直接的。  
   学習コスト: 15画だが、「衝突」を的確に表す常用漢字として有力。
6. ŝir / 撕 /  
   選定理由: 「破る」「ちぎる」「裂く」を表すときに頻用される動詞。  
   学習コスト: 15画だが、中国語で「撕开(sīkāi)」などの表現でよく使われるため認知度は高い。
7. skrap / 刮 /  
   選定理由: 「削る」「こそげ取る」「こすり落とす」などの意味をシンプルに表す。  
   学習コスト: 8画と比較的少なく、「かんな掛け」や「風が吹く(刮风)」などにも使われ汎用性がある。
8. lek / 舔(または 舔) /  
   選定理由: 「なめる」を表す主要な簡体字。「舐」は繁体寄り表記で、簡体字では「舔」。  
   学習コスト: 11画だが、「舌」を含むことで「なめる」という意味が連想しやすい。
9. pinĉ / 捏 /  
   選定理由: 「つまむ」「つねる」を示す一般的動詞。  
   学習コスト: 10画で中程度。ほかの「手」偏(扌)系統漢字とセットで覚えやすい。
10. maĉ / 嚼 /  
    選定理由: 「かみ砕く」「咀嚼する」の意味を単字で表す標準的な形。  
    学習コスト: 17画と多めだが、咀嚼(咀嚼)の核心字として定着しやすい。
11. mord / 咬 /  
    選定理由: 「かむ」「噛みつく」の意味。  
    学習コスト: 8画で比較的少なく、動作を的確に表す。
12. grat / 抓 /  
    選定理由: 「掻く」「ひっかく」「つかむ」などを幅広くカバーする常用字。  
    学習コスト: 7画と少なめで使いやすい。「掻く」の意味にもよく用いられる。
13. karambol / 撞 /  
    選定理由: ビリヤードの「キャノン(玉突き衝突)」にも「撞球(ビリヤード)」の字が使われるため再利用。  
    学習コスト: すでにkoliziで採用しているため追加負担なし。
14. pik / 刺 /  
    選定理由: 「刺す」「突き刺す」に直結する簡潔な字。  
    学習コスト: 8画で比較的単純。「刺激」「刺身」などでも日本人に馴染みがある。
15. bat / 打 /  
    選定理由: 「(を)打つ」の意味をストレートに表す代表的な動詞。  
    学習コスト: 5画と少なく、頻出度も非常に高い。
16. frap / 拍 /  
    選定理由: 「たたく」「拍手の拍」に通じ、軽い打撃・リズムを表しやすい。  
    学習コスト: 8画。既出の「手」偏(扌)系と合わせて学びやすい。
17. grimac / 鬼脸 /  
    選定理由: 「顔をしかめる」「変顔をする」の表現として日常的に「鬼脸(guǐliǎn)」が使われる。  
    学習コスト: 2文字だが、どちらも比較的画数は少なめ(「鬼」10画,「脸」9画)。
18. ŝerc / 玩笑 /  
    選定理由: 「冗談を言う」を表すのに、「开玩笑(kāi wánxiào)」が定番。単字より自然。  
    学習コスト: 2文字だが「玩」「笑」はそれぞれ常用かつ比較的イメージしやすい。
19. rid / 笑 /  
    選定理由: 「笑う」の直球表現。「笑(xiào)」だけで動詞・名詞的に通用する。  
    学習コスト: 10画だが、視覚的にも日中で“笑う”イメージが掴みやすい。
20. rikan / 冷笑 /  
    選定理由: 「冷笑(lěngxiào)」は「嘲笑(cháoxiào)」に近いが、より“冷ややかな笑い・嘲り”を強調。  
    学習コスト: 「笑」は既出で重複利用。「冷」は7画で比較的少なめ。
21. miaŭ / 喵 /  
    選定理由: 猫の鳴き声を表す代表的な擬声語。簡体字でも「喵(miāo)」。  
    学習コスト: 9画程度で、猫に関する擬声として広く認知。

### **1) boj /** 吠 **/** 選定理由 **/** 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: boj
2. 提案する簡体字: 吠
3. 選定理由:
   * 中国語では「狗吠(gǒu fèi)」の「吠」が「(犬が)ほえる」意味をもつ。
   * 日本語「吠える」にも用いられているので、日中両方の話者が意味を連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数(7画)は比較的少なく、部首も「口」と「犬」でわかりやすい。
   * 他の語根と重複使用はしていないが、用途が限定的なので問題なし。

### 2) kri / 叫 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: kri
2. 提案する簡体字: 叫
3. 選定理由:
   * 中国語「叫(jiào)」は「叫ぶ、(大声で)呼ぶ」の意。
   * 日本語「叫ぶ」にも含まれる漢字なので連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数(5画)が少なく習得しやすい。
   * 「口」偏旁を今後も多用できる可能性がある。

### 3) blek / 鸣 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: blek
2. 提案する簡体字: 鸣
3. 選定理由:
   * 中国語の「鸣(míng)」は鳥・獣・虫など幅広い動物の鳴き声を表す(例: 鸟鸣=小鳥が鳴く)。
   * 「いななく」(馬の鳴き声)にも比較的近いニュアンスで応用可能。
   * 日本語の「鳴る/鳴く」のイメージともつながりやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 簡体字で「鸣」は8画で比較的少ない。
   * 動物の「鳴き声」を広くカバーできる汎用性がある。

### 4) fajf / 吹 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: fajf
2. 提案する簡体字: 吹
3. 選定理由:
   * 中国語「吹(chuī)」は「(息を)吹く」の意味。口笛(吹口哨)も「吹」の一語である程度連想可能。
   * 日本語の「吹く」にも通じやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数(7画)と比較的少なめ。
   * 今後も「呼吸」「吐く」など“口+欠”系の字と合わせて学びやすい可能性がある。

### 5) murmur / 喃 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: murmur
2. 提案する簡体字: 喃
3. 選定理由:
   * 「喃(nán)」は「喃喃」と繰り返す形で「つぶやく/ぶつぶついう」の意味をもつ。
   * 一文字ではやや文語的だが、「つぶやき」「小声で言う」イメージに近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 9画で比較的中程度の画数。
   * 単体使用は多くないが、「口」偏+「南」の構造は学習しやすい部類。

### 6) grumbl / 咕哝 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: grumbl
2. 提案する簡体字: 咕哝
3. 選定理由:
   * 中国語の「咕哝(gū nong)」は「ぶつぶつ言う」「低く文句を言う」「ぼやく」の意味。
   * murmur(喃) よりも若干「不満げにぶつぶつ言う」ニュアンスが強い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 咕(8画)+哝(9画)=計17画で、2文字ではあるが日中で「ぶつぶつ言う」ニュアンスがわかりやすい。
   * 他の「口」偏の漢字(叫/吹/吐など)と同じ偏旁を使っているので関連付けも可能。

### 7) sput / 吐 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: sput
2. 提案する簡体字: 吐
3. 選定理由:
   * 中国語「吐(tǔ)」には「吐く」全般(吐き出す)の意味があり、痰や唾などを吐き出す場合にも使える。
   * 日本語でも「吐く」は視覚的に結びつけやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 6画で少ない。
   * 下記の vom, kraĉ と同じ字をあてることで、学習する漢字の総数を抑えられる(後で上付きや振り仮名で区別予定)。

### 8) vom / 吐 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: vom
2. 提案する簡体字: 吐
3. 選定理由:
   * 本来「呕吐(ǒu tù)」で「嘔吐」とも書くが、より画数の少ない「吐」を共通利用し、区別は上付き等で行う。
   * 日本語の「吐く」(嘔吐)も同じ字で連想が可能。
4. 学習コストに関する考察:
   * sput, kraĉ と同じく「吐」を使うことで、学習する偏旁・漢字の総数を減らせる。

### 9) kraĉ / 吐 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: kraĉ
2. 提案する簡体字: 吐
3. 選定理由:
   * 「吐痰」などで「吐」は「つばや痰を吐く」動作にも対応可能。
   * 他2つの「吐く」系語根(sput, vom)との明確な区別も表記上可能。
4. 学習コストに関する考察:
   * 上記2語根と合わせて同一漢字でまとめることで、覚える文字を最小限に。
   * 発音や用法は後で注釈を加えることで対処。

### 10) osced / 哈欠 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: osced
2. 提案する簡体字(熟語): 哈欠
3. 選定理由:
   * 中国語で「あくび」は「打哈欠(dǎ hā qian)」だが、名詞としては「哈欠」で通じる。
   * 一文字だけで「あくび」を示す一般的字はなく、熟語が自然。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「哈(8画)」「欠(4画)」=合計12画と比較的シンプル。
   * 「口」偏の一種(哈)と「欠」部首の組み合わせで、既出の口偏と通じる。

### 11) tus / 咳 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: tus
2. 提案する簡体字: 咳
3. 選定理由:
   * 「咳(ké)」は「咳をする(咳嗽)」の動詞・名詞両用に近い。
   * 日本語の「咳(せき)」とも形が同じで意味も対応。
4. 学習コストに関する考察:
   * 8画で中程度。
   * 「口」偏を含み、連想しやすい。

### 12) tern / 喷嚏 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: tern
2. 提案する簡体字(熟語): 喷嚏
3. 選定理由:
   * 中国語で「くしゃみ」は「打喷嚏(dǎ pēn tì)」が基本。単文字「嚏」は17画で難度高めなので、「喷嚏」2文字で対応。
   * 日本語の「噴(噴く)」「嚏(くしゃみ)」を連想可能だが、やや専門的。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数は多め(喷8画+嚏17画=25画)だが、単一字「嚏」よりは「喷嚏」のほうが一般的で認識しやすい。
   * 他の口偏(口・咕・吐など)と関連づけて覚えられる面はある。

### 13) singult / 打嗝 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: singult
2. 提案する簡体字(熟語): 打嗝
3. 選定理由:
   * 中国語で「しゃっくりをする」は口語的に「打嗝(dǎ gé)」という。
   * 一文字での表現は定着しておらず、こちらが最も自然。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「打(5画)+嗝(13画)=18画」。2文字だが、日常的表現なので覚えやすい。
   * 口偏+「鬲(ゲキ)」部はやや複雑だが、他の案(呃逆等)よりは使用頻度が高い。

### 14) ĝem / 呻 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ĝem
2. 提案する簡体字: 呻
3. 選定理由:
   * 中国語で「呻吟(shēn yín)」が「うめく/うめき声」を指すが、熟語化せずに「呻」一文字でも「うめく」「うめき声」として通じる(文語寄り)。
   * 日本語でも「呻く」に近いイメージ(「呻」は日本ではやや旧字扱いだが)
4. 学習コストに関する考察:
   * 7画と比較的少なく、口偏。
   * 2文字「呻吟」よりは登場漢字を減らせるので学習コスト削減。

### 15) ronk / 鼾 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ronk
2. 提案する簡体字: 鼾
3. 選定理由:
   * 中国語「鼾(hān)」単独、または「打鼾(dǎ hān)」で「いびきをかく」を表す。
   * 日本語の「鼾(いびき)」とも字形が同じなので意味が把握しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 17画とやや多いが、いびきに対応する他の簡便な一文字がなく、やむを得ない。
   * 「自」+「欠」系の複合で成り立っており、すでに「欠」部は「哈欠」などと共通点あり。

### 16) kartav / 未対応 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: kartav
2. 提案する簡体字: 未対応
3. 選定理由:
   * 「[文]r音をのどで発音する(のど式R/口蓋垂R)」を示す自然な単独漢字・熟語が見当たらない。
   * 「喉r」などの造語も可能だが、漢字1文字での割当は難しく汎用性も低い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 難易度が高く需要も限られるため、割当を保留(未対応)とした。

### 17) laŭt / 大声 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: laŭt
2. 提案する簡体字(熟語): 大声
3. 選定理由:
   * 「大声(dà shēng)」は「大きな声、(音量が)大きい」の意味で、中国語でも常用表現。
   * 単字「响」は「鳴る・響く」寄りなので、「大声」が「大きい声」のニュアンスにより合致。
4. 学習コストに関する考察:
   * 2文字合計10画(3+7)とそこまで多くない。
   * 「声」は後述の voĉ と同じ字を再利用し、登場漢字を抑えられる。

### 18) sonor / 响 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: sonor
2. 提案する簡体字: 响
3. 選定理由:
   * 「响(xiǎng)」は「響く」「鳴る」「音が大きい」等を表す常用字。
   * 「鐘が鳴る」「金属音が鳴り響く」など「音響」のニュアンスに近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 9画で比較的取り回しがよい。
   * 「口」+「乡」の組み合わせで学習しやすく、すでに口偏系列と紐づけられる。

### 19) son / 音 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: son
2. 提案する簡体字: 音
3. 選定理由:
   * 「音(yīn)」は日本語でも「音(おと)」として最も基本的な表記。
   * 「音がする」という意味に直結し、視覚的にも馴染みやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 9画でごく一般的な漢字。
   * 「声」や「响」とセットで学ぶことで音関連の漢字をまとめやすい。

### 20) voĉ / 声 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: voĉ
2. 提案する簡体字: 声
3. 選定理由:
   * 中国語の「声音(声)」は「声」「話し声」を表す。
   * 日本語の「声」と同形で意味が一致。
4. 学習コストに関する考察:
   * 7画、すでに「大声」「声音」など日常語にも現れやすい。
   * son(音)、sonor(响)との対比もしやすく「音/声/響」の系列になる。

### 21) tint / 叮当 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: tint
2. 提案する簡体字(熟語): 叮当
3. 選定理由:
   * 「叮当(dīng dāng)」は小さな金属音、鈴の音など「チンチン」「カランコロン」という軽い鳴りを表す擬音語。
   * 「チンチンと鳴る」ニュアンスにかなり近い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 叮(5画)+当(6画)=計11画と比較的少ない。
   * 擬音語としてもよく使われる表現なので学習しやすい。

### 22) krak / 啪 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: krak
2. 提案する簡体字: 啪
3. 選定理由:
   * 「啪(pā)」は手を叩く音や弾けるような「ぱちっ」「パーン」という擬音語。
   * ぱちぱち・かさかさといった軽い破裂音にも広く応用できる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 8画で、それほど多くない。
   * 口偏+「白」の構造で把握しやすく、他の口偏漢字とも関連付けが可能。

susur / 沙沙 / 「葉がこすれる音」「さらさら鳴る音」を表す擬声語 / 同じ字「沙」を複数箇所で活用予定（例：沙哑）

1. sibl / 咝咝 / 「シュー」「ヒュー」といった“空気の抜けるような”音の擬声語 / 「口」偏＋「司」の組合せで比較的わかりやすい
2. ŝmac / 啵 / くちびるを鳴らす・軽いキスのような「チュッ」音を表すときに中国語コミック等でよく使われる / 単字だがやや画数は多め（11画）。しかし用途がはっきりしている
3. plaŭd / 哗哗 / 「ばしゃばしゃ」「ざあざあ」など、水や液体が大きく動くときの擬声語 / 「哗」は「嘩」の簡体字
4. klak / 咔咔 / 「カチカチ」「カタカタ」「パキッ」など硬いものがぶつかる音の擬声語 / 「咔」は中国語の漫画や字幕でもよく用いられる
5. raŭk / 沙哑 / しわがれ声、かすれた声 / 「沙」はすでに出現済み、「哑」は声に関する漢字として再利用の可能性あり
6. flustr / 小声 / 「ささやく」「こっそり話す」ニュアンス。直訳すると「小さな声」 / 「小」と「声」はいずれも初学者にも比較的わかりやすい
7. zum / 嗡嗡 / ハチなどの「ブンブン」「ぶーん」という連続的な低い音 / 「嗡」はやや画数多め(13画)だが、中国語では標準的な擬音
8. muĝ / 吼 / 「うなる」「ほえる」「どなる」など、低く強い唸り声 / 画数（7画）は比較的少なめ
9. amnesti / 大赦 / 「大赦」「恩赦」の意味。公式的・法的ニュアンスが強い / 「大」はごく初級、「赦」は「赦免」等で用いられ、日中で意味が通じやすい
10. venĝ / 复仇 / 「復讐する」「(仇を)討つ」 / 簡体字「复」は日本語の「復」に相当、「仇」は「敵/仇(あだ)」で直感しやすい
11. kompens / 补偿 / 「補償」「埋め合わせ」 / 「补」は日本語の「補」、ただし簡体でやや形が違う。「偿」は「償」に相当
12. konsol / 安慰 / 「慰める」「安心させる」 / 漢字語としては「安らぎ＋慰め」でイメージしやすい
13. kompat / 同情 / 「同情する」「哀れむ」 / 日中でほぼ同じ意味・用法
14. pardon / 恕 / 「許す」「勘弁する」。単字「恕」はやや古風だが「寛恕」「饒恕」などの熟語にも含まれる / 画数9画
15. indulg / 饶 / 「容赦する」「大目に見る」「寛大に扱う」ニュアンス / 「饶命(命を助ける)」「饶恕(許す)」などで応用可
16. kondolenc / 哀悼 / 「哀悼する」「弔う」 / 「哀」は感情を表す常用字、「悼」も日本語の「悼む」と同系
17. bedaŭr / 可惜 / 「残念だ」「惜しい」「もったいない」 / 口語でも「(ああ)惜しい！」という意味で頻用
18. pent / 悔 / 「悔いる」「後悔する」「悔やむ」 / 単字のみで「後悔」のニュアンスを表す
19. domaĝ / 惜 / 「惜しむ」「大事にする」「もったいないと思う」 / すでに(18)「可惜」で登場した「惜」を再利用
20. funebr / 丧 / 「喪」「服喪」 / 簡体字の「丧」は日本語の「喪」に相当し、画数8画と比較的少ない
21. sufer / 苦 / 「苦しむ」「つらい思いをする」 / 日中で共通するイメージの漢字であり、画数も8画と少なめ

toler / 忍 /

* + 選定理由: 「耐える」「我慢する」の意味を直接表し、日本語・中国語の両方で「耐える／忍耐」のイメージが伝わりやすい。
  + 学習コスト: 画数が少なく(7画程度)、頻度も比較的高い字であるため学習しやすい。

1. plend / 诉 /
   * 選定理由: 「訴える・不満を言う」の意に近い簡体字。「诉苦(苦情を訴える)」などの熟語の一部でもあり、クレームや訴えのニュアンスを想起しやすい。
   * 学習コスト: 7画で比較的簡明。日本語「訴」と字形が近く、日本人にも理解されやすい。
2. lament / 叹 /
   * 選定理由: 簡体字の「叹」は日本語の「嘆(嘆く)」に相当し、「嘆き・悲嘆・哀悼」の意味を連想しやすい。
   * 学習コスト: 5画と少なく、視覚的にも「嘆」の簡体形であることがわかりやすい。
3. kares / 爱抚 /
   * 選定理由: 「愛撫する」「優しく撫でる」に近い熟語。単字の「抚」(なでる・なぐさめる)だけでは「愛情をもって撫でる」ニュアンスがやや弱いため、「爱抚」で正確に表現。
   * 学習コスト: 2文字だが、どちらも非常に頻出の漢字(「爱」「抚」)であり、日本人にも意味が推察しやすい。
4. dorlot / 宠 /
   * 選定理由: 「甘やかす」「寵愛する」の意味を直接持つ簡体字。中国語で「宠物(ペット)」「宠爱(溺愛)」などの用例があり、“甘やかし”を想起しやすい。
   * 学習コスト: 8画でそこまで多くなく、中国語では高頻度。日本語でも「寵」の旧字体と対応するためイメージしやすい。
5. kis / 吻 /
   * 選定理由: 「キス(する)」の直接的な表現。中国語で「接吻(キス)」などに使われる字。
   * 学習コスト: 7画程度であり、意味対応が明快。
6. brak/um## / 抱 /
   * 選定理由: 「抱く」「抱きしめる」を表す。中国語では「拥抱(抱きしめる)」の語にも含まれ、単字でも「抱」の段階で「腕で抱く」ニュアンスが伝わる。
   * 学習コスト: 8画で比較的簡単。「包」と形が近く覚えやすい。
7. riverenc / 行礼 /
   * 選定理由: 「お辞儀する」「屈膝礼をする」「敬意を示す」という意味を、「行礼(礼を行う)」という熟語でまとめた。中国語で「行礼」は「儀礼的な動作をする」→「お辞儀をする」に相当。
   * 学習コスト: 合計11画(「行」6画＋「礼」5画)。画数も比較的少なく、日本語の「礼」から意味を推測しやすい。
8. salut / 敬礼 /
   * 選定理由: 「敬意を表す挨拶」「礼をもって挨拶・敬礼する」を直接示す熟語。手紙の結びなどでも「敬礼」は使われるため、「挨拶する」ニュアンスも分かりやすい。
   * 学習コスト: 「敬」(12画)＋「礼」(5画)でやや多めだが、「礼」はすでに8番で登場、重複使用可能。
9. kompliment / 奉承 /

* 選定理由: 「お世辞を言う」「相手をもてはやして褒める」ニュアンスに近い熟語。中国語で「人に対してうまくお世辞を使う」状況に頻用される。
* 学習コスト: 「奉」(8画)＋「承」(8画)=16画。どちらも比較的基本的な漢字で、同じ熟語を「flat(おだてる)」にも再利用可能。

1. aplaŭd / 拍手 /

* 選定理由: 「拍手する」をそのまま表す2文字熟語。中国語でも「为…拍手」(…に拍手する)という用法が一般的。
* 学習コスト: 「拍」(8画)＋「手」(4画)=12画で、どちらも頻出漢字。

1. aklam / 欢呼 /

* 選定理由: 「歓呼する」「歓声をあげる」の標準的な中国語表現。
* 学習コスト: 「欢」(6画)＋「呼」(8画)=14画。日本語の「歓呼」と対応し、「欢」は簡体字化された形。

1. ador / 崇拜 /

* 選定理由: 「崇拝する」の最も直接的な中国語表現。日本語の「崇拝」とも対応。
* 学習コスト: 「崇」(11画)＋「拜」(9画)=20画。やや多めだが一般的かつ分かりやすい。

1. laŭd / 表扬 /

* 選定理由: 「(を)ほめる」という意味を表す常用表現。「称赞」「赞扬」など複数の選択肢があるが、「表扬」は比較的画数が少なめ(8＋6=14画)で、かつ用法が広い。
* 学習コスト: 両字とも中国語で頻出のため、学習効率は悪くない。

1. admir / 佩服 /

* 選定理由: 「感嘆する」「感心する」「(人を)すごいと思う」のニュアンスによく合う。「钦佩(欽佩)」などもあるが、画数を抑えるなら「佩服」がやや簡単。
* 学習コスト: 「佩」(8画)＋「服」(8画)=16画。中国語の日常表現として認知度も高い。

1. frand / 享用 /

* 選定理由: 「美味を楽しむ」「美食する」のように、味や飲食物を“堪能する”ニュアンスで使われる中国語表現。
* 学習コスト: 「享」(8画)＋「用」(5画)=13画。どちらもすでに他の単語(「享受」など)で再利用可能性が高い。

1. gust/um## / 品尝 /

* 選定理由: 「味わう」「味見をする」を最も端的に示す常用表現。
* 学習コスト: 「品」(9画)＋「尝」(9画)=18画。やや合計は多いが、「taste(味見)」を表すには定番かつ分かりやすい。

1. flat / 奉承 /

* 選定理由: 「おだてる」「へつらう」意味に適合。上記10番「kompliment(お世辞)」と同じ熟語を再利用し、学習漢字数を抑える。
* 学習コスト: 重複使用で新字追加なし。

1. tikl / 挠痒 /

* 選定理由: 「くすぐる」にいちばん近い日常的表現の一つ。直訳すると「(人の)痒みを挠(ひっか)く」だが、実際「人をくすぐる」の意味で使われるケースも多い。
* 学習コスト: 「挠」(9画)＋「痒」(9画)=18画。単字では表しにくい動作なので熟語とした。

1. rav / 陶醉 /

* 選定理由: 「うっとりさせる」「陶酔させる」の意味と完全に合致する中国語定番表現。
* 学習コスト: 「陶」(10画)＋「醉」(9画)=19画。やや多めだが、「醉(酔)」は「酔う」イメージを連想しやすい。

1. amuz / 逗乐 /

* 選定理由: 「楽しませる」「笑わせる」の中国語表現。直訳は「笑いを引き出す」「(人を)面白がらせる」に近い。
* 学習コスト: 「逗」(7画)＋「乐」(7画)=14画。「乐」は既に「喜び」を示す頻出字なので転用しやすい。

1. ĝu / 享受 /

* 選定理由: 「楽しむ」「享受する」という意味に最も合致した一般的表現。frand(美食)の「享用」と使い分けられ、より広く何かを“楽しむ”ニュアンスを示す。
* 学習コスト: 「享」(8画)＋「受」(8画)=16画。「享」は16番と重複し、一部学習負担を削減可能。

regal / 请 /

* + 選定理由: 「請(请)」には「招く」「ご馳走する(请客)」の意味合いがあり、“ごちそうする・もてなす”というニュアンスを比較的シンプルに表せます。
  + 学習コスト: 1文字で済むため比較的低め。日中ともに「请」の字形・意味はよく使われ、学習価値が高いです。

1. fest / 庆 /
   * 選定理由: 「庆」は「祝う」「慶事を行う」などの意味を持ち、“祝う”ニュアンスに最適。
   * 学習コスト: 画数(6画)は多くない。頻出の漢字なので習得しやすい。
2. festen / 宴 /
   * 選定理由: 「宴」単体で「宴会・酒席」を指し、“宴会をする”ニュアンスに対応。
   * 学習コスト: 単独で「ごちそう・宴会」を連想でき、日本語圏・中国語圏どちらも理解しやすい。
3. ovaci / 喝彩 /
   * 選定理由: 「喝彩」は「大声で褒めそやす、拍手喝采する」といった意味で、「大喝采」に相当。
   * 学習コスト: 2文字だが中国語で“声援・拍手”を表す常用表現。日本語でも「喝采」の形で通じ、イメージをつかみやすい。
4. hura / 欢呼 /
   * 選定理由: 「欢呼」は「歓声を上げる・歓呼する」の意味で、「万歳！」「歓呼」のニュアンスに対応。
   * 学習コスト: 2文字とも比較的よく使う字(“欢”(よろこぶ)＋“呼”(呼ぶ))。発音・意味ともに分かりやすい。
5. ben / 祝 /
   * 選定理由: 「祝」は「祝う・祝福する」の意味を担い、“祝福する”ニュアンスを1文字で表しやすい。
   * 学習コスト: 9画で中程度だが、中国語の「祝贺」や日本語の「祝う」と関連が明確で学習しやすい。
6. gratul / 祝 /
   * 選定理由: 「祝」は「祝う」「祝福する」「お祝いを言う」の意味も含み得るので、ben(祝福)と同字流用。
   * 学習コスト: 上記と同じく1文字で済み、追加学習不要。区別は上付き文字などで行う想定。
7. agac / 烦 /
   * 選定理由: 「烦」は「煩わしい」「いらだたせる」「悩ませる」という意味で、“人を苛立たせる”に近い。
   * 学習コスト: 10画だが比較的高頻度の語。煩わしさ(フラストレーション)をイメージしやすい。
8. agoni / 苦痛 /
   * 選定理由: “死の苦しみを味わう(死の苦悶)”＝「非常に強い痛み・苦痛」のイメージがあるため、「苦」と「痛」を組み合わせた熟語に。
   * 学習コスト: いずれも他語根で使う可能性が高い(「苦」「痛」)。既出・再利用により学習コスト削減。
9. dolor / 痛 /

* 選定理由: 「痛」は“痛み”を端的に表す漢字なので、“痛み”の語根に最適。
* 学習コスト: 単独使用率も高く、日本語圏・中国語圏とも「痛」の概念は直感的に把握しやすい。

1. ĥoler / 霍乱 /

* 選定理由: 中国語でコレラは「霍乱」が正式名称。伝統的表記でもあり意味が定着している。
* 学習コスト: 2文字で画数やや多めだが、病名としてはこれが最も一般的。

1. rabi / 狂犬病 /

* 選定理由: 中国語で狂犬病は「狂犬病」が最も一般的。日本語でもそのまま「狂犬病」。
* 学習コスト: 3文字だが病名としては広く知られており、中国語圏・日本語圏いずれも馴染みがある。

1. histeri / 癔病 /

* 選定理由: ヒステリーは中国語で「歇斯底里」と言うことも多いが、より簡潔な医療用語として「癔病」が用いられる。
* 学習コスト: 「癔」はやや画数が多い(18画)が、医療用語として省略形としては比較的一般的。

1. radikal / 激进 /

* 選定理由: 政治的に「急進的・ラディカル」を表すには「激进」が最も通じやすい。
* 学習コスト: 2文字熟語だが、中国語で“過激・急進”を表す常用表現。

1. akr / 尖 /

* 選定理由: 「尖」は「先端がとがっている」「鋭利である」の意味を持ち、「鋭い」ニュアンスを簡潔に示せる。
* 学習コスト: 6画と少なく、使いどころも多いため学習価値は高い。

1. akut / 锐 /

* 選定理由: 「锐」は「鋭角」「鋭い」「鋭利」などの意味があり、特に「锐角」(acute angle)の“鋭角”を連想しやすい。
* 学習コスト: 12画だが、「锐利(鋭利)」「锐角」など頻出語に含まれるため有用。

1. serioz / 严 /

* 選定理由: 「严」は「厳しい」「厳粛」「まじめ」などのニュアンスをもち、“まじめな”の意を単文字で表しやすい。
* 学習コスト: 7画で比較的シンプル。以下のsever・rigorとも同字流用予定で、覚える漢字の種類を抑えられる。

1. sever / 严 /

* 選定理由: 「severe, strict」のイメージは「严格」(厳格)に通じ、ここではseriozと同じ「严」を流用。
* 学習コスト: 同上。単文字で「厳しさ」を表現可能。

1. rigor / 严 /

* 選定理由: “厳格さ・厳密さ”は「严」(严格、严谨、严密など)の語感に合致。
* 学習コスト: 上記2語根と同字流用で追加コスト不要。

1. sarkasm / 讽 /

* 選定理由: 「讽(風刺する)」「讽刺(皮肉・風刺)」の“讽”を用い、“辛辣な皮肉”を端的に示す。
* 学習コスト: 通常は「讽刺」と二字で用いられるが、1文字「讽」でも「皮肉・風刺」のニュアンスが伝わる。

1. kruel / 残 /

* 選定理由: 「残」には「残酷」「残忍」「残虐」などの意味があり、“残酷な”を連想しやすい。
* 学習コスト: 9画で中程度だが、日本語でも「残酷」「残忍」等の熟語が多く、意味が取りやすい。

1. amar / 苦 /

* 選定理由: 「苦」には“苦味”および“つらい・苦しい”などの意味があり、“苦い”をストレートに表現。
* 学習コスト: 8画だが「苦労」「苦痛」など派生的に多用されるため学習価値は高い。

diskret

* + 提案: 「谨」
  + 理由: 「谨」(日本語の「謹」と同系)は「慎み深い」「注意深い」などの意をもち、口が堅い・慎重なニュアンス(＝discreet)を比較的想起しやすい。
  + 学習コスト: 画数はやや多めだが(※部首「讠」＋「斤」)、中国語では「谨慎」の略にも使われ、比較的よく使われる字。

1. obtuz
   * 提案: 「钝」
   * 理由: 「钝」(日本語の「鈍」の簡体字)は「にぶい」「とがっていない」ニュアンスで、鈍感・鈍器等からも連想可能。
   * 学習コスト: 日本語の「鈍」との対応も明確で、単一字として画数もそれほど多くない。
2. impertinent
   * 提案: 「无礼」
   * 理由: 「无礼」は「礼儀がない」「失礼・無礼」の意で、他者に対して厚かましい・横柄な態度を指す際に自然。1文字で「粗」「蛮」なども考えられるが、意味が狭まるため2文字熟語を採用。
   * 学習コスト: 「无(無)」「礼(礼)」はいずれも頻出字。2文字ではあるが画数合計はそれほど高くない。
3. sakr
   * 提案: 「骂」
   * 理由: Esperanto辞典上は「curse(罵る/罵声)」や「仙骨(sacrum)」が混在しているが、ここでは「罵る・悪態をつく」意味を優先と判断。「骂」は「罵(うるさくののしる)」の簡体字。
   * 学習コスト: 画数は7程度で、悪態・ののしりの文脈でよく使われるので分かりやすい。
4. fanfaron
   * 提案: 「夸」
   * 理由: 「夸」(日本語の旧字「誇」・「夸張」など)は「自慢する・誇示する・大げさに言う」というニュアンスが強く、大言壮語に近い。
   * 学習コスト: 中国語では「夸口(大口をたたく)」「夸张(誇張する)」などで広く使われる単字。比較的覚えやすい。
5. klaĉ
   * 提案: 「闲话」
   * 理由: 「闲话」は「ヒマ話」「雑談」「悪口混じりの噂話」等を指し、日常での「陰口・ゴシップ」のニュアンスに近い。
   * 学習コスト: 「闲(閒)」「话(話)」はいずれも初級～中級で学ぶ頻出字。2文字熟語だが意味が分かりやすい。
6. bru
   * 提案: 「吵」
   * 理由: 「吵」は「うるさい」「騒がしい」「口やかましい」などの意。エスペラントの“bru-”(騒音を立てる)に対応しやすい。
   * 学習コスト: 6画程度と比較的シンプルで、中国語の日常表現「吵闹」などに含まれるため使用頻度も高い。
7. tumult
   * 提案: 「乱」
   * 理由: 「乱」は「乱れる」「騒乱・混乱」を表す常用字で、騒動・大混乱(tumult)に近いニュアンスを持つ。
   * 学習コスト: 画数が少なく、日本語の「乱」と同じ形で認識しやすい。
8. distr
   * 提案: 「扰」
   * 理由: 「扰」(擾の簡体字)は「乱す・邪魔する・気を散らす」という含意を持ち、distr(気を散らす・気晴らしをする)に対応しやすい。
   * 学習コスト: 「扰」は筆画数も少なく、しかも「打扰(邪魔する)」など中国語で一般的に使われるため有用。
9. sufok

* 提案: 「闷」
* 理由: 「闷」(悶の簡体字)は「息苦しい」「鬱屈した」「息が詰まる」感覚を表し、窒息させる・息苦しくするに近い。
* 学習コスト: 「门」部首＋内部(4～5画)で比較的シンプル。抑圧・息苦しさのニュアンスが通じやすい。

1. naŭz

* 提案: 「恶心」
* 理由: 「恶心」は「吐き気がする」「気持ち悪い」を表す、ごく一般的な中国語表現。単字「吐」だと単なる「吐く」行為になりがちなので熟語を採用。
* 学習コスト: 「恶(悪)」「心」の2文字はいずれも高頻度字。日本語でも「悪心(おしん)」と書けば類推可能。

1. ted

* 提案: 「烦」
* 理由: 「烦」(煩の簡体字)は「うんざりする」「うるさく煩わしい」「飽き飽きする」の意があり、退屈・嫌気に近い。
* 学習コスト: 単字としてはやや画数多めだが(10画程度)、中国語での使用頻度は高い。

1. ĉagren

* 提案: 「烦」
* 理由: 「ĉagren」は「いらだたせる・苦悩させる」など「煩わしさ／心痛」を含む。既出の「烦」と意味が近いので再利用。
* 学習コスト: 同じ字を使い回すことで新規漢字を増やさずに済む(学習コスト軽減)。

1. haladz

* 提案: 「臭」
* 理由: 「臭」は「くさい」「悪臭がする」を直接表す字で、悪気(悪臭)・臭い匂いを示すのに最適。
* 学習コスト: 漢字圏なら容易に意味を推測しやすく、一文字で済むため学習もしやすい。

1. furioz

* 提案: 「狂」
* 理由: 「狂」は「狂ったような」「激しい」「荒れ狂う」といった意味をもち、furioz(怒り狂った様)を比較的よく表す。
* 学習コスト: 日本語でも「狂気」「熱狂」などでおなじみ。画数(7)もそこそこ少ない。

1. koler

* 提案: 「怒」
* 理由: 「怒」は「いかる」「怒る」という感情の最も直接的な漢字。koler(怒っている)に合致。
* 学習コスト: 日本語と同形で「怒り」を容易に連想可。初級～中級レベルでの学習漢字。

1. indign

* 提案: 「愤」
* 理由: 「愤」(憤の簡体字)は「憤り・激しい怒り」を表す。激怒・義憤など、やや強めの怒りを示す場合に適当。
* 学習コスト: 画数は8～9程度で、日本語の「憤」と対応。中国語では「愤怒」「气愤」などで使用頻度が高い。

1. ofend

* 提案: 「侮」
* 理由: 「侮」は「侮る・軽んじる・侮辱する」の意があり、人を侮蔑(=侮辱)する・傷つける(offend)のニュアンスに近い。
* 学習コスト: 中国語では「侮辱(侮り辱める)」が常用。画数も8画程度。

1. blasfem

* 提案: 「亵」
* 理由: 本来「亵渎(亵=褻・渎=瀆)」が「神などを冒瀆する」意味の定番だが、単独「亵」も「けがす・汚す」のニュアンスを持つ。
* 学習コスト: ややマイナー字だが、2文字熟語(亵渎)に比べ画数は少ない。冒涜・亵読を直接示す単字として割り当て。

1. kalumni

* 提案: 「诽」
* 理由: 中国語で「诽谤(誹謗)」という表現が一般的。単独「诽」も「そしる・悪口を言う」ニュアンスがあり、中傷・誹謗を連想しやすい。
* 学習コスト: 本来は「诽谤」で使うため2文字だが、単独でも語源から中傷を示す。7画程度。

1. riproĉ

* 提案: 「责」
* 理由: 「责」(責の簡体字)は「責める・非難する・咎める」の意で、英語の“reproach”にあたるニュアンス。「责备」とすれば「とがめる」。
* 学習コスト: 8画で比較的シンプル。日本語「責める」と同根のため意味は類推しやすい。

1. mok

* 提案: 「讽」
* 理由: 「讽」(諷の簡体字)は「皮肉る・あざける・風刺する」を表し、mock(嘲る・揶揄する)に近い。
* 学習コスト: 6画と少なく、中国語では「讽刺(風刺)」などでよく使われる頻出字。

insult/骂/罵る(ののしる)に対応、口汚く罵る意が明確/比較的画数少(7画)・中国語で常用

abomen/厌恶/「嫌悪」の中国語表現(“厭惡”の簡体字)に対応/2文字だが両字とも頻出で意味が正確

ĵaluz/妒/「嫉妬」(嫉妒)のうち画数の少ない方を採用/7画で比較的わかりやすい

envi/羡/「羨む」に通じる字で“羨慕”の簡体形の一部/単字はやや文語的だが8画でそこそこシンプル

fajl/锉/金属などをヤスリで削る意味をもつ常用字/やや専門だが単字で表せる(12画)

torn/车削/旋盤(車床)で削る意味の標準表現/「车」(4画)＋「削」(9画)で比較的通じやすい

glad/烫/衣服を“アイロンがけ(熱を当てる)”する意/「烫」は「加熱して処理する」意もあり10画

drapir/披/布を肩などに“掛ける・覆う”ニュアンス/8画で比較的基本的な字

kov/孵/卵を抱く・孵化させる意が直接表せる/7画で「孵化」(ふか)で日本語にも通じる

jung/套/馬具などで動物を“つなぐ・はめる”際の動作/「套馬」の用法があり10画で広く使われる

strigl/刷/馬をブラシがけ(グルーミング)する意に対応/8画で刷(こする)系の動きとして理解しやすい

friz/烫/髪を熱でカールする(パーマを当てる)意/「烫发」として常用(既出「烫」と同字流用)

komb/梳/髪を櫛でとかす意の代表字/10画だが“梳头”(髪をとかす)で広く通じる

raz/剃/毛を剃る動作を直接表す/9画で比較的基本的な字

bala/扫/箒やブラシで掃く際に用いる動詞/6画と少画数で「打扫」などでも頻出

viŝ/拭/拭う・拭き取る動作を表す/9画で日本語「拭う」と同根、意味もはっきり

lav/洗/洗う動作に最も直裁な字/9画で日常的に非常に使用頻度が高い

gargar/漱/口をすすぐ(うがい)動作を表す代表字/12画で「漱口」だが用途ははっきり

seg/锯/ノコギリで切る動作を表す/12画の簡体字(伝統形は「鋸」)で意味が明確

ŝovel/铲/シャベルですくう動作/10画の簡体字(伝統形「鏟」)で実用的

rast/耙/熊手や耙でかき集める動作/7画と比較的少画数、農具耙を連想しやすい

muel/磨/粉砕・研磨をする動作を直接表す/16画とやや多いが「磨」は日中ともに意味が明確

pist / 捣 / 「(すり鉢などで)つき砕く・つぶす」の意味で使用頻度も比較的高い / 扌(手偏) は他動作系漢字にも登場しやすく、転用可能

1. tan / 制革 / 皮をなめす行程を表す常用表現。「鞣」は画数が多く専門的すぎるため避けた / 「制」「革」ともに常用漢字で汎用性が高い
2. brog / 烫 / 「熱湯に浸す・熱湯をかける(＝やけどさせる)」の意。日常でも「烫头(パーマをかける)」等で使われる / 「火」偏を多くの調理系漢字で再利用できる
3. tond / 剪 / 髪や羊毛を「刈る」「はさみで切る」の意。単体で「はさみ」の意味も / 偏旁「前半(钅)や刀部」は他の切断系漢字と共有しやすい
4. falĉ / 割 / 「刈る」「(農作物などを)収穫のために切る」の意味で使われる / 刀偏を含むため「切」「剖」「砍」などと部首を共有
5. tajl / 裁 / 「布を裁断する」「仕立てる」などの裁縫的なニュアンスが強い / 「衣」や「刀」を含む複雑字よりも単字「裁」のほうが汎用度が高い
6. sekc / 剖 / 「切り開く」「解剖する」など医療・外科的文脈で使われる / 右側の刀部は「切」「剪」「割」と同様に再利用範囲が広い
7. tranĉ / 切 / 一般的な「切る」に対応する最も基本的な字 / 画数4画と少なく、学習コストが低い
8. hak / 砍 / 「たたき切る」「斧などで叩き割る」の意。口語でも非常に頻出 / 石偏(左)＋欠(右)で構成。やや画数多めだが動作を明確に表す
9. kuir / 煮 / 「調理する(特に煮込む)」の基本字として採用。厳密には“煮る”寄りだが、単字で比較的汎用性あり / 火偏で他の調理関連字とも関連
10. frit / 炸 / 「油で揚げる」「フライにする」。煎(焼く/炒める)と区別しやすい / 火偏で調理系列の一貫性を維持
11. bak / 烤 / 「オーブンで焼く」「あぶる」「ローストする」。焼き全般を広くカバー / 調理系で火偏を再利用
12. rost / 烤 / 「あぶる・炙る・ローストする」も同様にbakと統合。後で上付き文字などで区別予定 / 同じ字を使い回すことで学習コスト削減
13. tajp / 打字 / 「タイプする」。単字で表せないので常用2文字で / 「打」は動作全般に使い回せる常用字
14. kompost / 排版 / 「(印刷の)組版・植字」の意。現代中国語では「排版」が一般的 / 「排」「版」ともに常用度高
15. skrib / 写 / 「書く」。エスペラントの一般的な“書く”に最適 / 画数わずか5画で学習コストが低い
16. stenograf / 速记 / 「速記」。専門用語だが2文字で簡潔 / 「速」は常用字、「记」は文章関連で頻出
17. projekci / 投影 / 「映写する」「投影する」。映画上映などの文脈では「放映」もあるが、光学的“プロジェクション”に近い / 「投」「影」も比較的使用頻度が高い
18. desegn / 画 / 「(絵を)描く」。中国語では「画」単字でも“絵を描く”の意味がある / 日本語でも「絵画」の「画」で馴染みあり
19. skiz / 草图 / 「スケッチ(簡単な下描き)」。単字で“スケッチ”を明示するのは難しい / 「草」「图」は他の語(插图など)とも一部共有可能
20. ilustr / 插图 / 「挿絵・イラストを入れる」。書籍等のイラストに広く使う / 「插」は手偏＋「插图」は出版印刷系でも汎用
21. brod / 绣 / 「刺繍する」。口語では「刺绣」と2文字だが、単字「绣」に“刺繍”の動詞的用法もある / 糸偏(纟)は布・裁縫関連で再利用しやすい

gravur

* + 提案漢字: 刻
  + 選定理由: 「刻」は「彫る・刻む」という意味を広くカバーし、「engrave(彫り込む)」にも通じる。
  + 学習コスト: 画数は8画と比較的少なく、「skulpt」「ĉiz」等にも流用しやすい。

1. tatu
   * 提案熟語: 纹身 (wénshēn)
   * 選定理由: 現代中国語で「入れ墨」＝「纹身」が最も一般的。「刺青」もあるが、中国大陸では「纹身」の方が通用度が高い。
   * 学習コスト: 2文字だが「纹(糸偏+文)」「身」はどちらも頻出漢字。単独1文字で「刺」や「纹」にすると意味が不明瞭になるため、2文字表記を優先。
2. skulpt
   * 提案漢字: 刻
   * 選定理由: 本来「雕」が「彫刻」に近いが、既に「刻」を採用しているため、学習コストを抑える目的で使い回す。
   * 学習コスト: 同じ「刻」を再利用することで新規漢字の追加を回避し、学習負担を軽減。
3. ĉiz
   * 提案漢字: 刻
   * 選定理由: 「彫る・刻む」の意味で「ĉiz」とほぼ重複するため、「skulpt」「gravur」と同じく「刻」を割り当て。
   * 学習コスト: 同一漢字の再利用により、新たな漢字を増やさない。
4. ŝmir
   * 提案漢字: 涂 (tú)
   * 選定理由: 「(油などを)塗る」「塗布する」の意味に対応しやすい。中国語では「涂抹」という熟語もあるが、1文字にまとめるなら「涂」が最適。
   * 学習コスト: 「氵(さんずい)」偏は他にも多用されるため、部首として覚えやすい。
5. lubrik
   * 提案漢字: 润 (rùn)
   * 選定理由: 中国語の「润」には「潤う」「潤滑にする」という意味があり、「lubricate」に対応しやすい。
   * 学習コスト: 画数はやや多め(「氵+门」の合計10画)だが、「润滑」などで頻繁に使われ、認知度は高い。
6. dron
   * 提案漢字: 淹 (yān)
   * 選定理由: 「淹死」(溺死する)や「被水淹」(水に浸かる/溺れる)などの形で「水に沈む、溺れる」ニュアンスを表せる。
   * 学習コスト: 画数は11画だが、後述の「inund(氾濫)」とも意味的に近いため再利用を想定。
7. inund
   * 提案漢字: 淹 (yān)
   * 選定理由: 「淹」は「水没させる/浸す」意味を持ち、「氾濫」「浸水」というイメージとも重なる。「dron」と同じ字を使い回し可。
   * 学習コスト: すでに「dron」で登場しているため、新規の字数を増やさない。
8. diboĉ
   * 提案漢字: 淫 (yín)
   * 選定理由: 中国語で「淫」は「みだら」「酒色にふける」「度を超えて乱れる」など、放蕩・淫乱のニュアンスを含む。
   * 学習コスト: 画数はやや多い(氵+㚣)が、他に単字で「酒と色欲にふける」を端的に表す漢字が少ないため選定。
9. ferment

* 提案漢字: 酵 (jiào)
* 選定理由: 「发酵(ferment)」「酵母(酵母=yeast)」などに使われ、発酵を最も直接的に示す単字。
* 学習コスト: 14画と多めだが、発酵関連にはほぼ必須なので採用。

1. bol

* 提案漢字: 沸 (fèi)
* 選定理由: 「沸腾(沸騰)」で「沸く」を表し、日本語の「沸く」と同じ字形(ただし簡体字でも同形)。
* 学習コスト: 8画で比較的シンプル。

1. fand

* 提案漢字: 溶 (róng)
* 選定理由: 「熔(熔化)」「融(融合)」などもあるが、画数面や知名度を考え「溶」を採用。熱で溶かす場合にも広く使われる。
* 学習コスト: 「氵＋容」で13画だが、後述の「degeli(解ける)」とも併用し、重複を回避できる。

1. degel

* 提案漢字: 溶 (róng)
* 選定理由: 氷雪が「溶ける」「融ける」際にも「溶」を用いるケースがあり、熱での溶解と用途が近い。
* 学習コスト: 「fand」と同字にし、新規字を増やさない方針。

1. civiliz

* 提案漢字: 化 (huà)
* 選定理由: 「教化」「文化」などに含まれる「化」には「教え導いて文明化(開化)する」イメージがあり、簡潔。
* 学習コスト: 4画と非常にシンプル。

1. edif

* 提案漢字: 化 (huà)
* 選定理由: 厳密には「教(教導)」もあり得るが、「civiliz」と同じ「化」の再利用で新漢字を減らす。宗教的な教化・啓蒙も広義に含められる。
* 学習コスト: 既出の「化」を再利用するので、増分なし。

1. ilumin

* 提案漢字: 光 (guāng)
* 選定理由: 「照」より画数が少なく、「光」で「光を当てる」「啓発する」イメージを簡潔に表現できる。
* 学習コスト: 6画と比較的少なく、視覚的にも分かりやすい。

1. rivel

* 提案漢字: 显 (xiǎn)
* 選定理由: 「显」には「明らかにする」「示す・顕在化させる」の意味があり、語源的に「revealing(あかす)」と重なる。
* 学習コスト: 9画だが、中国語で「明显」「显露」など頻出のため比較的覚えやすい。

1. infuz

* 提案漢字: 泡 (pào)
* 選定理由: 中国語でお茶を「泡茶(お茶を淹れる)」と言うように、「液体に浸す・抽出する」ニュアンスを単字で表せる。
* 学習コスト: 8画。「水＋包」で構成されており、連想しやすい。

1. ventol

* 提案漢字: 风 (fēng)
* 選定理由: 「風」を表す最も基本的な簡体字。「通风(換気)」「吹风(風を通す)」など応用範囲が広い。
* 学習コスト: 4画と非常に少なく、日本語の「風」と形はやや異なるが意味は直感しやすい。

1. filtr

* 提案漢字: 滤 (lǜ)
* 選定理由: 「过滤(ろ過)」の「滤」。フィルターの動詞として広く使われる。
* 学習コスト: 「氵＋虑」で10画。ろ過を表す代表的字。

1. rafin

* 提案漢字: 炼 (liàn)
* 選定理由: 「炼油(石油を精製する)」「冶炼(金属を精錬する)」など「精製」の文脈で広く使われる。
* 学習コスト: 9画。「火＋东」の構成で比較的分解しやすい。

1. kaŭteriz

* 提案漢字: 灼 (zhuó)
* 選定理由: 「灼熱」「灼傷」などで「焼く・焼いて処理する」イメージが強い。外科的に「焼灼する」は「cauterize」に近い。
* 学習コスト: 7画(「火＋勺」)と比較的少なく、「火」偏との関連で覚えやすい。

satur / 饱和 / 「飽和」を意味する標準的な簡体字表現 / 「饱(飽)」「和」は比較的使用頻度が高く、日本語「飽和」と同系統で連想しやすい

1. distil / 蒸馏 / 「蒸留」を意味する標準的な簡体字表現 / 「蒸」「馏」はやや画数が多いが、中国語でも最も一般的で、学習効果が高い
2. el/turn/iĝ## / 未対応 / 語根ではない(末尾に #)ため、今回の割当は行わない / （必要であれば「闪躲」「回避」等も検討可能）
3. ĵongl / 杂耍 / 「雑耍(手品・曲芸)」の簡体字表現 / 「杂」は頻出漢字、「耍」も中国語で「遊び・芸をする」意を含み馴染みがある
4. forĝ / 锻造 / 金属を「鍛造」する意味で標準的 / 「锻」「造」はどちらも高頻度で他分野にも応用可能
5. skerm / 击剑 / フェンシングの中国語表現として定着 / 「击」「剑」は画数も比較的少なく、いずれも常用漢字
6. met / 放 / 「置く、放置する」の意味に近く、動詞として広く使われる / 一文字で画数も少なく、多用される
7. munt / 装配 / 「組み立てる、装着する」に対応する標準表現 / 「装」「配」はともに機械分野や日常語彙でも高頻度
8. instal / 安装 / 「据え付ける、インストールする」標準表現 / 「安」「装」とも既出漢字で、学習負担を抑えやすい
9. insid / 陷害 / 「落とし入れる、陥れる」のニュアンスに最も近い / 「陷」「害」はそれぞれ常用度が高く、日本語の「陥(いる)」「害」にも近い
10. rembur / 填充 / 「詰め物をする、埋める」に相当 / 「填」「充」は「填表(書き込む)」「充值(チャージ)」など使用範囲が広く学習効果が高い
11. flik / 缝补 / 「継ぎを当てる、繕う」を縫い物の観点で表現 / 「缝」「补」はともに裁縫や修繕でよく用いられる
12. lut / 焊接 / ハンダ付け、溶接全般を指す簡体字表現 / 「焊」「接」は他の工業動詞とも組合せやすく、使用頻度も高い
13. rabot / 刨 / 木材などを「かんな」で削る行為に対応 / 一字で画数4と少なく、中国語で「刨床(工作機械)」などにも用いられる
14. tremp / 浸 / 液体に「浸す、つける」の意味 / 一字のみで簡潔、日中いずれも「浸」の字義は把握しやすい
15. implik / 纠缠 / 「もつれさせる、巻き込む、絡ませる」の意味合い / 「纠」「缠」いずれも常用範囲で、物理・比喩両面に対応
16. rigl / 闩 / 「かんぬきをかける、ボルトで留める」の意 / 「闩(閂)」は画数が少なく扉の差し棒を示す一般的表現
17. kribr / 筛 / 「ふるいにかける、篩にかける」の簡体字 / 一文字で「ふるい」の動詞・名詞両方を表す
18. kned / 揉 / 「こねる、揉む」の意味 / 画数はやや多いが「揉面(生地をこねる)」など一般用法が広い
19. draŝ / 打谷 / 「打穀(穀物を脱穀・叩く)」の口語的表現 / 「脱粒」もあるが、画数が少ない「打谷」の方が分かりやすい
20. absorb / 吸收 / 「夢中にさせる、吸収する」を広くカバー / 「吸」「收」はともに高頻度で他動詞との組合せも多い
21. vek / 叫醒 / 「目覚めさせる、起こす」を口語で端的に示す / 「叫(呼ぶ)」「醒(覚める)」の組合せで用例が豊富

konstern / 惊 /

* + 選定理由: 「驚(惊)」は「驚かす・吃驚させる」という意味を強くもつため、「仰天させる・驚かす」に相当しやすい。
  + 学習コスト: 画数は9画。すでに日常中国語でも頻出の字であり、日本人にも「驚」の簡体形としてイメージしやすい。

1. inspir / 启 /
   * 選定理由: 中国語の「启发(啟發)」「启示」などに含まれ、「啓示・啓発・インスピレーションを与える」ニュアンスが強い。
   * 学習コスト: 7画で比較的少なめ。既出との重複はないが、頻度も高く学びやすい漢字。
2. log / 诱 /
   * 選定理由: 「引きつける・誘い込む」など「誘惑(诱惑)」のイメージを持ち、他の「引く/魅了する」意味とも近しい。「誘導」「誘致」など類例多数。
   * 学習コスト: 8画。後述の tent(誘惑) と同じ字を割り当てることで漢字数を削減。
3. tent / 诱 /
   * 選定理由: 「誘惑」の核心部分に相当。log との類義（引き寄せる／誘惑する）により同一字を使い回し、学習負担の軽減を図る。
   * 学習コスト: log と同一の字を再利用できるので追加学習不要。
4. incit / 激 /
   * 選定理由: 「激怒」「激発」「激化」など、「激」は怒りを煽ったり刺激を与えたりする意味合いを包括できる。
   * 学習コスト: 16画とやや多いが、後述の類義語にもまとめて転用できるため、トータルの漢字種類数はむしろ削減できる。
5. provok / 激 /
   * 選定理由: 「挑発する・引き起こす・煽る」などは「激～」(例:激起, 激怒)の形で表現可能。incit とほぼ同様のニュアンス。
   * 学習コスト: incit と同じ字を再利用。新たな字を増やさない利点が大きい。
6. instig / 激 /
   * 選定理由: 「激励」「激発」「激進」など、「行動を促す、奮い立たせる」といった“駆り立てる”意味も「激」が担うことができる。
   * 学習コスト: 同上。すでに登場済み「激」を再利用。
7. stimul / 激 /
   * 選定理由: 「刺激(刺激)」「激励(激勵)」などに通じ、外部から“刺激を与える”ニュアンスを広くカバー。
   * 学習コスト: 同一漢字「激」の多重利用で漢字数の増加を回避。
8. ekscit / 激 /
   * 選定理由: 「興奮させる／激しく動かす」のイメージに対応。中国語では「激动(激動)」が「感情を高ぶらせる」意にも当たる。
   * 学習コスト: 前項同様、「激」で統合して学習負担を低減。
9. agit / 激 /

* 選定理由: 「扇動する」「煽り立てる」というニュアンスも「激～」(例: 激起, 激化) で十分表現可能。
* 学習コスト: 既出の「激」を再利用し、新規漢字学習を回避。

1. est/ig## / 使 /

* 選定理由: 「使～(誰かに～させる)」「～を引き起こす」という因果・使役ニュアンスに広く対応できる。
* 学習コスト: 8画。よく使われる常用字であり、追加の負担は比較的小さい。

1. indukt / 归纳 /

* 選定理由: 「帰納する」の中国語としては「归纳(歸納)」が定訳で、論理的帰納を表すにはこれが最も自然。
* 学習コスト: 2文字熟語だが、いずれも常用字。「归」(5画) 「纳」(10画) で合計15画程度。同一熟語として学べば習得は難しくない。

1. abort / 流产 /

* 選定理由: 「流産・中絶」は中国語で「流产(流產)」が常用。意味のズレなく対応可能。
* 学習コスト: 2文字だが、いずれも頻出字であり、医療・ニュース関連用語としても登場頻度が高い。

1. nask / 生 /

* 選定理由: 「生む・出生する」の核心イメージは漢字の「生」に集約可能。
* 学習コスト: 5画と少なく、最も基本的な漢字のひとつ。

1. akuŝ / 产 /

* 選定理由: 「出産(生产)」「分娩」という意味に近く、同じく「産む」だが、nask とは別の字をあて区別してもよいと判断。
* 学習コスト: 6画。「产」は簡体字で、ニュース・経済(生産)などでも頻繁に出るため比較的習得は容易。

1. kultur / 种 /

* 選定理由: 「栽培する・種をまく」のニュアンスを「种(種を植える)」で表現できる。「耕種」「栽种」などでも用いる字。
* 学習コスト: 9画。日常的に目にする単語「种子(種子)」「种类(種類)」などに含まれるため馴染みやすい。

1. bred / 养 /

* 選定理由: 家畜を飼育する・育てる意味は「饲养(飼養)」に由来する「养」で十分表現可。
* 学習コスト: 6画と少なめ。「营养(栄養)」「培养(培養)」などにも登場し、汎用性が高い。

1. nutr / 养 /

* 選定理由: 「養う・栄養を与える」のイメージ。「养」は前項 bred と同様に“育てる・養う”全般をカバーできる。
* 学習コスト: bred と同一字を使用し、新規漢字を増やさない。

1. adopt / 收养 /

* 選定理由: 「養子にする」を中国語では「收养(收養)」が一般的。「养」単体だと「養う」のみで「養子にする」の意味までは直ちに伝わりにくいため、2文字熟語を採用。
* 学習コスト: 「收」(6画) は本割当に初登場だが、常用字。すでに「养」は登場済みなので1文字分の追加で済む。

1. ĉikan / 挑 /

* 選定理由: 「挑剔(あら探しをする)」「挑衅(挑発)」「挑拨(けしかける)」など、“言いがかりをつける”“からかう”イメージを広く内包。
* 学習コスト: 8画。「挑剔」「挑衅」等の熟語で見れば意味がわかりやすく、他の煽動系漢字とも近いニュアンスを学びやすい。

1. fuŝ / 错 /

* 選定理由: 「錯誤」「失敗」「しくじる」というニュアンスをまとめて表現しやすい。一言で「ミスする」のイメージに近い。
* 学習コスト: 9画。中国語で「错误(錯誤)」として広く用いられ、日本語話者にも「錯誤」の簡体形として理解しやすい。

1. rasp / 刮 /

* 選定理由: 「削る・こそげ取る」の意味合いに近く、料理で「皮を剥く・すりおろす」イメージにも通じる。
* 学習コスト: 8画。動詞として日常表現(「刮风=風が吹く(削るような風)」など)にも含まれ、実は比較的よく登場する漢字。

kontuz → 挫伤

* + 選定理由: 「挫伤(zhuāshāng)」は中国語で「打撲傷・挫傷」の意味を表す熟語。
  + 学習コスト: 「伤(負傷)」は他の怪我を意味する語にも転用でき、「挫」も“くじく”意味があるので直感的に覚えやすい。

1. turment → 虐
   * 選定理由: 「虐(nüè)」は「虐待」「残虐」などで“いじめ・苦しめる・酷い仕打ち”のニュアンスを直接表す。
   * 学習コスト: 単字かつ9画程度で、日中いずれの文脈でも「残虐・いじめ」関連で認知されやすい。
2. atenc → 犯
   * 選定理由: 「犯(fàn)」は“侵す、犯罪をおかす、危害を加える”というニュアンスを広く含む。
   * 学習コスト: 5画と画数が少なく、「犯人」「犯罪」などの日中共通熟語からイメージしやすい。
3. strik → 罢工
   * 選定理由: 中国語でストライキは「罢工(bàgōng)」が定訳。
   * 学習コスト: 二字熟語だが、中国語学習初期でもよく出る語であり、意味が直截的。
4. bojkot → 抵制
   * 選定理由: 中国語で“ボイコット・排斥・抵抗する”の意味に「抵制(dǐzhì)」が最も一般的。
   * 学習コスト: 「抵」「制」ともに日中で使用頻度が比較的高い。
5. buĉ → 屠
   * 選定理由: 「屠(tú)」は“家畜を屠殺する”の核心イメージ。日本語の「屠殺」に通じ、意味を連想しやすい。
   * 学習コスト: 単字で8画程度。常用漢字ほど頻度は高くないが、概念が分かりやすい。
6. murd → 杀
   * 選定理由: 「杀(shā)」は「殺」の簡体字。殺害を直接示す。
   * 学習コスト: 6画と少なめで、日本語「殺」と非常に近く、理解しやすい。
7. paf → 射
   * 選定理由: 「射(shè)」は“矢や弾を撃つ”イメージがわかりやすい。日本語「射る」との対応も明確。
   * 学習コスト: 10画だが単字で完結し、日中で共通認識されやすい。
8. bombard → 炮击
   * 選定理由: “砲撃する”の定番表現である「炮击(pàojī)」を採用。
   * 学習コスト: 「炮(砲)」「击(撃)」はいずれも攻撃関連で他の単語にも転用可能。
9. paŝt → 牧
   * 選定理由: 「牧(mù)」は放牧・牧畜を直接表す。
   * 学習コスト: 8画で、「牧場」「牧師」など日中共通の熟語も多い。
10. dres → 驯
    * 選定理由: 「驯(xùn)」(旧字体「馴」)は“動物を調教・馴らす”ニュアンスを含む。
    * 学習コスト: 7画ほどで、部首「马(馬)」＋「川」に相当。動物関連で他にも使い回し可。
11. klaft → 尋
    * 選定理由: 日本語「尋(ひろ)」と同字形で、古くは中国語でも“長さや深さの単位”として用いられた。
    * 学習コスト: 簡体字では「寻(xún)」が“探す”意味に使われるため混同注意。必要なら「英寻」等の熟語も検討可。
12. manĝ → 吃
    * 選定理由: 中国語で“食べる”を表す最も基本的な動詞。「吃(chī)」。
    * 学習コスト: 6画。初級学習で必ず出る漢字のため覚えやすい。
13. fast → 斋
    * 選定理由: 「斋(zhāi)」は旧字体「齋」で“斎戒、断食”を表す。
    * 学習コスト: 8画程度で、日本語の「書斎」「斎場」等にも含まれる要素から連想可能。
14. digest → 消化
    * 選定理由: “消化する”を表す最も一般的な熟語。「消化(xiāohuà)」。
    * 学習コスト: 「消」「化」はどちらも初級レベルで頻出。応用しやすい。
15. dir → 说
    * 選定理由: 「说(shuō)」は“言う、話す”を示す最も代表的な簡体字。
    * 学習コスト: 9画だが、中国語学習では最序盤に習うため把握しやすい。
16. rakont → 讲
    * 選定理由: 「讲(jiǎng)」は“語る、講義する、解説する”などの意。物語るニュアンスにも近い。
    * 学習コスト: 6画と比較的少なく、講演・講話など日中での用例も多い。
17. esprim → 表示
    * 選定理由: 「表示(biǎoshì)」は“表現する、示す”の意。
    * 学習コスト: 「表」「示」はどちらも頻度が高く、他の語にも応用しやすい。
18. prononc → 发音
    * 選定理由: 「发音(fāyīn)」は“発音”。中国語の基本単語。
    * 学習コスト: 「发」「音」ともに初級学習範囲。派生語「发表」「声音」なども多い。
19. dikt → 口述
    * 選定理由: 「口述(kǒushù)」は“口頭で述べる／口述筆記をさせる”をストレートに示す。
    * 学習コスト: 「口」は3画で汎用度が高い。「述」は8画だが“述べる”意味を直感的に連想しやすい。
20. predik → 讲道
    * 選定理由: 宗教的な“説教する”には「讲道(jiǎngdào)」がわかりやすい。
    * 学習コスト: 「讲」は既出で再利用、「道」は9画と標準的。日中で「道教」「道路」など認知度が高い。
21. deklam → 朗诵
    * 選定理由: 「朗诵(lǎngsòng)」は“朗読・朗誦・詩を声高に読む”ニュアンス。
    * 学習コスト: 新出漢字「朗」「诵」だが、「朗」は日本語でも“朗らか”で連想可。「诵」は“暗誦”などの類語「背诵」「诵读」があり応用可能。

svat / 媒 /  
選定理由: 「媒」は「媒人」（仲人）を連想させ、中国語でも“結婚の仲介”という意味合いが明確。  
学習コスト等: 女偏(「女」)を含むやや中画数（12画）だが、日本語・中国語どちらの話者も意味をつかみやすい。

1. iĝ / 成 /  
   選定理由: 「成」は「成る（なる）」「～になる」を表す漢字で、日中英いずれも“become”のニュアンスを直感しやすい。  
   学習コスト等: 6画と比較的少ない画数で、非常に常用度が高い。
2. ig / 使 /  
   選定理由: 「使」は「～させる」「～を使って何かをさせる」など、“使役”“原因を作る”の意味が強い。  
   学習コスト等: 8画だが、中国語でも「使得」「使用」など非常に頻度が高く、日本語圏にも「大使」「使う」などでなじみがある。
3. kroz / 巡 /  
   選定理由: 中国語の「巡航」「巡回」から“巡航・巡行する”イメージを想起しやすい。  
   学習コスト等: 6画と少なめで、今後「巡」偏旁を応用する可能性もある。
4. navig / 航 /  
   選定理由: 「航」は“航海・航空”など「航行」「航路」を直接イメージさせる。  
   学習コスト等: 10画だが、「航海」「航空」といった派生語も多く、日中で意味把握が容易。
5. navigaci / 导航 /  
   選定理由: 中国語の「导航」は“航行・ナビゲーション”そのものを指すため分かりやすい。  
   学習コスト等: 「导」(6画)と「航」(10画)の組み合わせ。すでに「航」を採用しているため一部再利用可。
6. migr / 移 /  
   選定理由: 「移」には“移動・移住・遷移”などの意味合いがあり、日本語でも馴染み深い。  
   学習コスト等: 11画とやや多いものの、頻出度が高く応用範囲が広い。
7. vojaĝ / 旅 /  
   選定理由: 「旅」は“旅行・旅路”を直接示す字で、日本語の「旅行」との対応も明確。  
   学習コスト等: 10画だが、日中ともに“旅＝旅行”の連想が強く分かりやすい。
8. ekskurs / 远足 /  
   選定理由: 中国語で「远足」は“遠足・小旅行”を意味する標準的な表現。  
   学習コスト等: 「远」(7画)＋「足」(7画)。どちらも常用で、日本語でも「遠足」という言葉があるため想像しやすい。
9. paŝ / 步 /  
   選定理由: 「步」は“歩く・一歩”を意味し、中国語でも“歩数・ステップ”を表す常用字。  
   学習コスト等: 7画で比較的取り組みやすく、今後「歩」の関連表現も応用可能。
10. marŝ / 行进 /  
    選定理由: 「行进」は“行進・前進する”意味で軍隊などの進軍を示す標準的表現。  
    学習コスト等: 「行」(6画)＋「进」(7画)。いずれも頻度が高く、後続の単語にも応用しやすい。
11. promen / 散步 /  
    選定理由: 中国語の「散步」は“散歩をする”の定番表現。  
    学習コスト等: 「散」(12画)＋「步」(7画)。やや画数は多めだが、“散歩”として日中で意味を把握しやすい。
12. kur / 跑 /  
    選定理由: 「跑」は現代中国語で“走る”を表す最も直接的な単語。  
    学習コスト等: 9画と少し多めだが、意味がはっきりしており代替も限られる。
13. ir / 去 /  
    選定理由: 「去」は“行く・離れる”の意味を表し、中国語で最も基本的な動詞の一つ。  
    学習コスト等: 5画と画数が少なく、日本語でも「去る」で“行く・離れる”のニュアンスを推測しやすい。
14. ŝak / 棋 /  
    選定理由: 「棋」は“将棋・囲碁・チェス”などのボードゲーム全般を連想。  
    学習コスト等: 12画だが、「棋士」などで日本語にも馴染みがあり意味を取りやすい。
15. lud / 玩 /  
    選定理由: 「玩」は“遊ぶ・もてあそぶ”を表し、中国語でも“ゲームをする・楽しむ”の基本動詞。  
    学習コスト等: 8画で、日常単語（玩具=おもちゃ）として日本語にも通じる要素がある。
16. petol / 调皮 /  
    選定理由: 「调皮」は“いたずら・やんちゃ・わんぱく”を指す最も一般的な表現の一つ。  
    学習コスト等: 「调」(10画)＋「皮」(5画)。ともに常用字であり、中国語初学者にも比較的目に触れやすい。
17. manovr / 演习 /  
    選定理由: 「演习」は“軍事演習・大規模な訓練”を直接意味する標準的な言葉。  
    学習コスト等: 「演」(14画)＋「习」(3画)。やや画数多めだが軍事演習に限らず“訓練・リハ”の意味合いも含む。
18. ekzerc / 训练 /  
    選定理由: 「训练」は“訓練・トレーニング”を示し、中国語で広く使われる。  
    学習コスト等: 「训」(6画)＋「练」(7画)＝13画。どちらも常用字で、「练」は“練習”にも応用できる。
19. trejn / 训练 /  
    選定理由: 「trejn」も“コーチする・トレーニングする”の意で、「训练」をそのまま再利用可能。  
    学習コスト等: 既に出現した組み合わせをそのまま使うため、重複活用により総学習量を削減。
20. proced / 进行 /  
    選定理由: 「进行」は“物事を進める・処理を続行する”の意味。  
    学習コスト等: 「行」(6画)＋「进」(7画)で、先に「行进」で用いた文字を再配置しているため追加負担が少ない。
21. ag / 行动 /  
    選定理由: 「行动」は“行動・実行”を意味し、「ag＝act」との対応が取りやすい。  
    学習コスト等: 「行」再利用＋「动」(6画)も非常に常用度が高いため、認知・学習しやすい。
22. entrepren
    * 提案: 企
    * 理由: 「企」は日本語の「企てる」と対応し、中国語でも「企业(企業)」「企图(企て)」などの形で「計画する・始める」というニュアンスがあり、双方にとって連想しやすい。
    * 学習コスト: 6画で比較的簡単。再利用しやすい偏旁は少ないが、「企」は日本語話者にも意味を想起しやすい利点がある。
23. trakt
    * 提案: 处理
    * 理由: 「处理」は「物事を取り扱う、処理する」の意で、中国語でも「deal with, handle」の意味。日本語の「取り扱う」ともかなり近い。
    * 学習コスト: 「处(処)」(5画) +「理」(11画)でやや画数はあるが、どちらも頻出漢字で転用可能性が高い。
24. manipul
    * 提案: 操
    * 理由: 中国語で「操纵(操縱)」「操作」の中心となる字で、日本語の「操る」とも対応しやすく、「操作する・操る」の意味合いを表現できる。
    * 学習コスト: 16画とやや多めだが、単字で「操作」を想起しやすいため妥当。
25. mov
    * 提案: 动
    * 理由: 「动」は「動く、動かす」に相当する簡体字で、中国語でも「移动(移動)」「动作(動作)」など「動き」を表す中心的な字。
    * 学習コスト: 6画と比較的少ない。日本語の「動」と対応しており覚えやすい。
26. port
    * 提案: 运
    * 理由: 中国語「运(運)」は「運ぶ・輸送する」の意味を含むため、「持ち運ぶ」ニュアンスに近い。
    * 学習コスト: 7画。日本語の「運(うん)」と同根で意味も想像しやすい。輸送関係で他への転用が期待できる。
27. vetur
    * 提案: 乘
    * 理由: 中国語の「乘」は「乗る、乗り物に乗って行く」という意味を直接表す字。
    * 学習コスト: 10画でそこそこだが、日本語「乗」の旧形「乘」との関連である程度連想可能。
28. rajd
    * 提案: 骑
    * 理由: 中国語で「騎乗する」を意味し、日本語の「騎(キ)」とも対応。「馬や自転車などに乗る」ニュアンスに適合。
    * 学習コスト: 9画。馬偏を含むので日本語話者・中国語話者いずれも連想しやすい。
29. import
    * 提案: 进口
    * 理由: 中国語で輸入は「进口」が一般的(経済・日常用語)。日本語の「入口」と字面が類似しつつも、「輸入」の意味を持つ。
    * 学習コスト: 「进(7画)」+「口(3画)」=計10画。どちらも頻出で今後転用可能。
30. eksport
    * 提案: 出口
    * 理由: 「出口」は中国語で「輸出」の意味を取り、また「exit(出口)」とも重なるが、経済用語としても「輸出」を指す。
    * 学習コスト: 「出(5画)」+「口(3画)」=計8画。すでに「口」を使っているため、新字は「出」のみ。
31. korespond

* 提案: 通信
* 理由: 「通信」は文通・書信によるやり取り(コレスポンデンス)を示す一般的な表現。
* 学習コスト: 「通(10画)」+「信(9画)」=19画とやや大きめ。ただし両方とも非常に汎用度の高い字。

1. trafik

* 提案: 交通
* 理由: 中国語でも日本語でも「交通」は「往来・トラフィック」を表す標準的な単語。
* 学習コスト: 「交(6画)」+「通(10画)」。すでに「通」を用いているため新字は「交」のみ。

1. fluktu

* 提案: 波动
* 理由: 中国語の「波动」は「上下に動く・変動・振動・波打つ」を指し、fluctuateに相当。
* 学習コスト: 「波(8画)」+「动(6画)」。すでに「动」は使用済みなので、新規は「波」のみ。

1. ŝanĝ

* 提案: 变
* 理由: 中国語で「変化・変わる」を直接意味する代表的な簡体字。「改变」などの語にも含まれる。
* 学習コスト: 8画。単独でも「変える」のニュアンスが通じる。

1. vari

* 提案: 变动
* 理由: 「vari」は「連続的に変化する(変動する)」のニュアンスがあるため、複合語「变动」が自然。
* 学習コスト: 「变(8画)」+「动(6画)」。いずれも既出字のため新規負担なし。

1. traduk

* 提案: 译
* 理由: 中国語で「翻訳」を表す主要成分は「译」。通常は「翻译」と2文字だが、ここでは学習コスト削減のため単字を採用。
* 学習コスト: 7画。「訳」と同源のイメージで日本語話者も把握可能。

1. interpret

* 提案: 口译
* 理由: 中国語で「口译」は「通訳」を直接指す標準表現。「口」は声に出して訳すニュアンスを示す。
* 学習コスト: 「口(3画)」+「译(7画)」。いずれも既出字で追加負担なし。

1. prozelit

* 提案: 改宗
* 理由: [宗]改宗者(プロゼライト)は「改宗者」となるが、簡略化して「改宗」とし、改宗の概念を示す。
* 学習コスト: 「改(7画)」+「宗(8画)」=15画。やや多いが、宗教関係では標準的な組み合わせ。

1. konvert

* 提案: 改宗
* 理由: 「改宗させる」の動詞用法も中国語では「改宗(する/させる)」と表現可能。
* 学習コスト: 17番と同じく「改」「宗」を再利用し、新たな文字は増えない。

1. metamorfoz

* 提案: 变身
* 理由: 「変身」は中国語でも「变身」と書き、身体・姿が変化するニュアンスを的確に表現。
* 学習コスト: 「变(8画)」+「身(7画)」。既出の「变」を使い、新たに「身」を追加。

1. re/form##

* 提案: 改造
* 理由: 「改革，改良，改造」などが候補だが、日本語訳「改造する」にもっとも近い表現として「改造」を選択。
* 学習コスト: 「改」は既出、新たに「造(10画)」を加えるのみ。

1. ripar

* 提案: 修理
* 理由: 中国語で「修理」はまさに「(壊れたものを)直す・修繕する」の標準的表現。
* 学習コスト: 「修(10画)」+「理(11画)」。既に「理」は使っているため、実質「修」のみ新規。

1. modif

* 提案: 修改
* 理由: 「修正」「修改」が共に「修正・改める」を意味。ここでは「変更・修正」のニュアンスが近い「修改」を採用し、「改」を再利用。
* 学習コスト: 「修(10画)」+「改(7画)」。どちらも既出であり、追加の新字はない。